SPEEDIA V2
LAN I/F ボード V2-LA100
イーサネットボード
ユーザーズマニュアル
カシオ計算機株式会社
カシオ電子工業株式会社

CASIO

MA0207-A

SPEEDIA V2 V2-LA100 イーサネットボードユーザーズマニュアル

T-683P

SPEEDIA V2

LAN I/F ボード V2-LA100

イーサネットボード
ユーザーズマニュアル

プリンタを設置・操作する前によくお読みください。
また、ご使用中もお手元に置いてご活用ください。

CASIO

安全にお使いいただくために

本製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずユーザーズマニュアル（本書）をお読みください。

安全上の注意表示

⚠警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。

一般的な注意

	プリンタ内部の安全スイッチに触れないでください。高電圧が発生し感電のおそれがあります。また、ギヤが回転するのでケガのおそれがあります。
	プリンタの近くで強燃性スプレーを使用しないでください。プリンタ内部には高温になる部分があるので火災のおそれがあります。
	カバーが異常に熱くなったり、煙が出たり、変なにおいがしたり、異常な音がする場合は、電源プラグをコンセントから抜いてカシオテクノ・コールセンターへ連絡してください。火災のおそれがあります。
	水などの液体がプリンタ内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてカシオテクノ・コールセンターへ連絡してください。火災のおそれがあります。
	クリップなどの異物をプリンタ内部に落とした場合は、電源プラグをコンセントから抜いて異物を取り出してください。感電、火災、ケガのおそれがあります。

⚠警告

	ユーザーズマニュアルに指示している以外の操作や分解は行わないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	プリンタを落下させたり、カバーを傷つけた場合は、電源プラグをコンセントから抜いてカシオテクノ・コールセンターへ連絡してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	電源コード、プリンタ、アース線は、ユーザーズマニュアルで指示されている以外の接続は行わないでください。 火災のおそれがあります。
	通気口に物を差し込まないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	水の入ったコップなどをプリンタの上にのせないでください。 感電、火災のおそれがあります。
	プリンタのカバーを開けたときは、定着器ユニットに触れないでください。 やけどのおそれがあります。

⚠注意

	電源投入時および印刷中は、用紙の排出部に近づかないでください。 ケガをするおそれがあります。

本書の見方

表　記

本書では、次のように表記している場合があります。

- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版 → WindowsXP
- Microsoft® Windows® Millennium Edition 日本語版 → WindowsMe
- Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版 → Windows98
- Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版 → Windows95
- Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版 → Windows2000
- Microsoft® Windows NT® operating system Version4.0 日本語版 → WindowsNT4.0
- WindowsXP、WindowsMe、Windows98、Windows95、Windows2000、WindowsNT4.0の総称→Windows

マーク

プリンタを正しく動作させるための注意や制限です。誤った操作をしないため、必ずお読みください。

プリンタを使用するときに知っておくと便利なことや参考になることです。お読みになることをお勧めします。

諸注意

紙幣、有価証券などの印刷について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。

関連法律　　**刑法　第148条、第149条、第162条**
通貨及証券模造取締法　第1条、第2条　等

電波障害防止について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

高調波規制について

この装置は、「高調波ガイドライン適合品」です。

エネルギースターについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

SPEEDIAはカシオ計算機株式会社の商標です。
Microsoft、Windows、Windows NTは、米国Microsoft Corporationの米国及び、その他の国における登録商標または商標です。
平成明朝体、平成角ゴシック体は、(財)日本規格協会　文字フォント開発・普及センターと使用契約を締結して使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。
その他各社名、製品名は各社の登録商標または商品名です。

本書について

１.本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
２.本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
３.本書の内容については万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたらお買い求めの販売店にご連絡ください。
４.本書の内容に関して、運用上の影響につきましては３項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

マニュアルの版権について

使用許諾契約

各プログラムおよび関連するドキュメンテーション（以下、総称して本ソフトウェアという）は、カシオ計算機株式会社（以下、カシオ計算機という）が提供するものです。本ソフトウェアをお使いになる前に、以下の項目をお読み下さい。

プログラムをインストールした時点で、お客様は、カシオ計算機との間で本契約が成立し、本契約条項の拘束を受けることに同意したものと見なされます。

・各インストーラ
・プリンタドライバ (Windows95/98/Me用)
・プリンタドライバ (Windows NT4.0用)
・プリンタドライバ (Windows 2000用)
・プリンタドライバ (Windows XP用)
・ストレージデバイスマネージャ (Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP用)
・色見本印刷ユーティリティ (Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP用)
・カラー調整ユーティリティ(Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP用)
・ICC プロファイル(Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP用)
・USBドライバ (Windows 98/Me用)
・CVOLPRユーティリティ(Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP用)
・CVONetworkExtension(Windows95/98/Me/NT4.0/2000/XP用)
・Network Device Setup Utility (Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP用)

１．使用範囲

お客様は、本ソフトウェアに対応するカシオ計算機プリンタを所有する場合に限り、当該プリンタに直接またはネットワークを通じて接続される複数のコンピュータにプログラムをインストールして、本ソフトウェアを使用することができます。また、お客様は、バックアップの目的として本ソフトウェアを一部複製することができます。

２．財産権および義務

(1) 本ソフトウェアおよびその複製物の著作権、版権、所有権は、カシオ計算機またはカシオ計算機に使用許諾を与えたライセンサーにあります。

本ソフトウェアの構成、編成、コードはカシオ計算機またはカシオ計算機に使用許諾を与えたライセンサーの業務上の重要な機密事項及び機密情報にあたります。

本ソフトウェアは米国及び日本国の著作権法ならびに国際条約及びその使用される国において適用される法律の保護を受けており、書籍その他の著作物と同じに扱われなければなりません。

(2) 第１条に定めた複製を除いて、本ソフトウェアの一部または全部の複製、貸与、レンタル、リース、使用許諾することはできません。

(3) お客様は本ソフトウェアを、修正、改変、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルしないことに同意します。

(4) お客様には本契約で認められた権利を除き、本ソフトウェアに関するいかなる権利も付与されません。-

３．譲渡

お客様は以下の条件すべてを満足することにより本ソフトウェアを第三者に譲渡できます。

(1) 本ソフトウェアに対応するカシオ計算機プリンタと一緒に譲渡する。

(2) 本ソフトウェアのコピー全てを当該第三者に譲渡し、または譲渡しなかったコピーを全て破棄する。

(3) 当該第三者が事前に本契約の拘束に同意する。

４．期間

(1) お客様への本ソフトウェアの使用許諾は、本契約が解除されるまで有効です。

(2) お客様は、本ソフトウェアおよびその複製物を全て破棄および消去することにより、本契約を解除することができます。

(3) お客様が本契約の条件に違反した場合には、カシオ計算機は、お客様に対してライセンス契約の解除を行うことがあります。この様な解除が行われた場合には、お客様は本ソフトウェアおよびその複製物の全てを破棄および消去し、本ソフトウェアの使用を中止するものとします。

５．保証

(1) カシオ計算機またはカシオ計算機に使用許諾を与えたライセンサーは、本ソフトウェアに関して、以下のことを含む一切の保証をするものではありません。

・本ソフトウェアを使用する事によってお客様の要望する性能または結果が得られること。
・本ソフトウェアに瑕疵がないこと。
・第三者の権利を侵害していないこと。
・特定の目的に適合していること。

(2) 本ソフトウェアは、予告なく改良、変更することがあります。

６．責任の限定

カシオ計算機またはカシオ計算機に使用許諾を与えたライセンサーは、本ソフトウェアによって生じる、いかなる直接的、間接的、派生的な損害、損失（営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の喪失などによる損害、損失を含む）については、たとえそのような損害の発生の可能性について予め知らされていたとしても、また、それらの損害についての請求が不法行為（過失を含むがこれに限定されない）に基づくものであれ、その他の如何なる法律上の根拠に基づくものであれ、お客様に対して一切責任を負わないものとします。

また、本ソフトウェアまたは本ソフトウェアに関連して生じた、第三者からなされるいかなる請求についても、お客様に対して一切責任を負担しないものとします。

７．契約の有効性

本契約の一部が無効で法的拘束力がないとされた場合にも、本契約の他の部分の有効性には影響を与えず、他の部分は有効かつ法的拘束力をもつものとします。

８．輸出管理

本ソフトウェアは、日本国の輸出管理法、その他の関連法令・規則で禁止されている国へは輸出されないものとし、またかかる法令・規則で禁止されている態様で使用されないものとします。お客様は、適切な日本政府の輸出許可を得ずに本ソフトウェアや本ソフトウェアから作られた製品を輸出、再輸出しないことに同意します。もし、お客様がこの条項に違反された場合、自動的にこの契約は解除されるものとします。

９．完全な合意

お客様は、本契約を読んでこれを理解したこと、および本契約がお客様に対する本件ソフトウェアのライセンスについてカシオ計算機とお客様との間の事前の口頭、書面またはその他の通信手段による一切の合意に優先するお客様とカシオ計算機との間の完全かつ唯一の合意であることを確認します。また本契約に基づくお客様の義務は、本契約に基づいてライセンスされる権利の保有者すべてに対する義務を構成するものとします。

※Adobe Acrobat Readerの使用について

Acrobat Readerはカシオ計算機がアドビシステム社との契約に基づきお客様に配布するものです。お客様はAcrobat Readerに含まれているエンドユーザー使用許諾契約書に同意することにより、アドビシステム社からAcrobat Readerの使用を許諾されることになります。

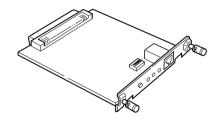
目　次

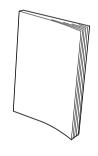
1 イーサネットボードを取り付けます

製品の確認

製品がそろっていることを確認してください。

□イーサネットボード *

□ネットワークソフトウェア CD-ROM

□イーサネットボード
ユーザーズマニュアル（本書）

□コア *

* ネットワーク標準装備プリンタは、プリンタに組み込まれています。

注 **・ツイストペアケーブルは添付されていません。別途用意してください。**

イーサネットボードの特長

マルチプロトコルに対応

TCP/IP、IPX/SPX、NetBEUI のプロトコルに対応しています。

専用ネットワークユーティリティを付属

ネットワーク上のWindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0からイーサネットボードの設定を行うことができます。

Webブラウザで管理できます

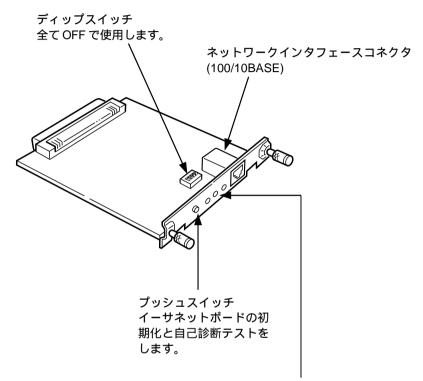
Microsoft Internet Explorer や Netscape Navigator などの Web ブラウザを利用して、イーサネットボードの設定やプリンタのステータスが表示できます。

SNMPに対応

SNMP エージェントを実装しています。

100BASE-TX/10BASE-Tに対応

100BASE-TX と 10BASE-T を自動的に切り替えます。

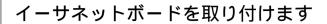
各部の名前

STATUS ランプ（橙）
データ受信時に点滅します。イーサネットボードの異常を検出した場合は次のいずれかの動作をします。

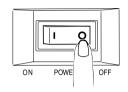
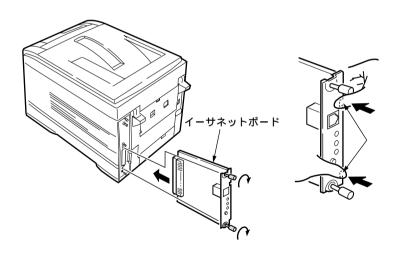
- 一定間隔で点滅
- 常に点灯
- 常に消灯

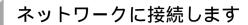
LINK 10M ランプ（緑）
10BASE-T で接続すると点灯します。

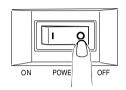
LINK 100M ランプ（緑）
100BASE-TXで接続すると点灯します。

主な仕様

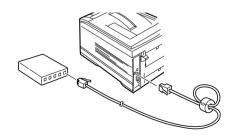
項　目	内　容
CPU	FALCON
メモリ	FlashROM：2Mbyte RAM：4Mbyte
ネットワーク インタフェース	100BASE-TX/10BASE-T (自動切替、同時使用不可)
ネットワークプロトコル	TCP/IP 仕様 ネットワーク層　ARP、RARP、IP、ICMP セッション層　TCP、UDP アプリケーション層　LPR、FTP、TELNET、HTTP、IPP、BOOTP、DHCP、SNMP、DNS、SMTP NetWare 仕様 リモートプリンタモード(最大 8 プリントサーバ) プリントサーバモード(最大 8 ファイルサーバ・32 キュー) 暗号化パスワードに対応(プリントサーバモード時) NetWare5J/4.1J(NDS、バインダリ) SNMP NetBEUI 仕様 SMB、NetBIOS
機　能	自己診断テスト印刷機能 WebPage による状態表示、及び設定機能 E-Mail によるプリンタ状態通知機能

イーサネットボードを取り付けます

1　**プリンタの電源が OFF になっていることを確認します。**

2　**イーサネットボードを取り付けます。**

注 ・**ボードの金属板は曲り易いため、押し込む際には※印の部分を押して差し込んでください。**

ネットワークに接続します

注 ・**ツイストペアケーブル(カテゴリ5、ストレート)は添付されていません。別途用意してください。**

1　プリンタの電源がOFFになっていることを確認します。

2　ツイストペアケーブルにコアを取り付けます。

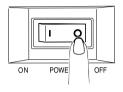
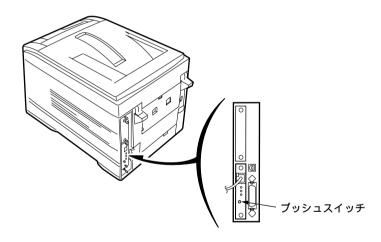
同梱のイーサネットケーブル用コアを、ツイストペアケーブルのプリンタに差し込むコネクタの口から約15cmの所に左図のように1重の輪を作って取り付けます。

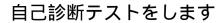
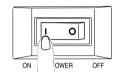
3　ツイストペアケーブルを接続します。

❶ ツイストペアケーブルをプリンタのネットワークインタフェースコネクタに差し込みます。

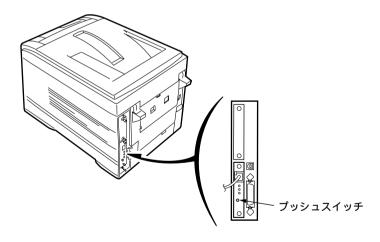
❷ ツイストペアケーブルをハブに差し込みます。

イーサネットボードを初期化します

注 ・初期化すると全ての設定が初期値になります。

1　**プリンタの電源が OFF になっていることを確認します。**

2　**プッシュスイッチを押したまま、プリンタの電源を ON にし、3 秒間以上押し続けてから、指を離します。**

イーサネットボードが初期化され、自己診断テストが印刷されます。

自己診断テストをします

1　**プリンタの電源を ON にします。**

注 ・**イーサネットボードをはじめて取り付けたときに一度だけプリンタの初期化がおこなわれる場合があります。これは問題ない動作です。**

2　**プッシュスイッチを 3 秒間以上押し続けてから、指を離します。**

自己診断テストが印刷されます。

（例）

```
EthernetBoard FastEther7300e Version 1.1.0-b2D

*** Diagnostic report ***
   ROM Check : Ok  stat: 1677 FFFF 0000 0000
   RAM Check : Ok  stat: 0000 0000 0000 0000
   NIC Check : Ok  addr: 00:80:92:08:1E:DB  100BASE-TX
EEPROM Check : Ok  stat: 8999 8999 0000 0000

      DIPSW1 : OFF(ON:Test use only)
      DIPSW2 : OFF(ON:Initialize configuration)
      DIPSW3 : OFF(ON:Reserved)
      DIPSW4 : OFF(ON:Diagnostic print)

*** Configuration report ***
TCP/IP protocol             :ENABLE
IP address                  :132.1.50.108
Subnet mask                 :255.255.255.0
Gateway address             :0.0.0.0
RARP protocol               :DISABLE
DHCP/BOOTP protocol         :DISABLE
DNS Server(Pri.)            :0.0.0.0
DNS Server(Sec.)            :0.0.0.0
root password               :""
Authentic community         :"******"
Trap community              :"public"
Trap address                :0.0.0.0
SysContact                  :""
SysName                     :""
SysLocation                 :""
DefaultTTL                  :255
EnableAuthenTrap            :2
NetWare protocol            :ENABLE
Packet type                 :AUTO
NetWare mode                :PSERVER
FSERVER name 1              :""
FSERVER name 2              :""
FSERVER name 3              :""
FSERVER name 4              :""
FSERVER name 5              :""
FSERVER name 6              :""
FSERVER name 7              :""
FSERVER name 8              :""
Machine name                :"ETHER081EDB"
Password                    :""
Job polling interval        :4
Bindery mode                :ENABLE
NDS tree                    :""
NDS context                 :""
PSERVER name 1              :""
PSERVER name 2              :""
PSERVER name 3              :""
PSERVER name 4              :""
PSERVER name 5              :""
```

イーサネットアドレス

```
PSERVER name 6                :""
PSERVER name 7                :""
PSERVER name 8                :""
Job timeout                   :10
NetBEUI protocol              :ENABLE
Computer name                 :"ETHER081EDB"
Workgroup name                :"PrintServer"
Comment                       :"EthernetBoard FastEther7300e"
NetWare port name             :"ETHER081EDB-prn1"
BOJ string                    :""
EOJ string                    :""
BOJ string(KANJI)             :""
EOJ string(KANJI)             :"¥x04"
Printer type                  :PS
TAB size   (char.)            :8
Page width (char.)            :78
Page length(line)             :66
lpr/ftp banner                :NO
Prn-Trap Community            :"public"
TCP#1 Trap enable             :DISABLE
On-line trap                  :DISABLE
Off-line trap                 :DISABLE
Paper Out trap                :DISABLE
Paper Jam trap                :DISABLE
Cover Open trap               :DISABLE
Printer Error trap            :DISABLE
TCP#1 Trap address            :0.0.0.0
TCP#2 Trap enable             :DISABLE
On-line trap                  :DISABLE
Off-line trap                 :DISABLE
Paper Out trap                :DISABLE
Paper Jam trap                :DISABLE
Cover Open trap               :DISABLE
Printer Error trap            :DISABLE
TCP#2 Trap address            :0.0.0.0
TCP#3 Trap enable             :DISABLE
On-line trap                  :DISABLE
Off-line trap                 :DISABLE
Paper Out trap                :DISABLE
Paper Jam trap                :DISABLE
Cover Open trap               :DISABLE
Printer Error trap            :DISABLE
TCP#3 Trap address            :0.0.0.0
TCP#4 Trap enable             :DISABLE
On-line trap                  :DISABLE
Off-line trap                 :DISABLE
Paper Out trap                :DISABLE
Paper Jam trap                :DISABLE
Cover Open trap               :DISABLE
Printer Error trap            :DISABLE
TCP#4 Trap address            :0.0.0.0
TCP#5 Trap enable             :DISABLE
On-line trap                  :DISABLE
Off-line trap                 :DISABLE
Paper Out trap                :DISABLE
```

```
Paper Jam trap                 :DISABLE
Cover Open trap                :DISABLE
Printer Error trap             :DISABLE
TCP#5 Trap address             :0.0.0.0
IPX Trap enable                :DISABLE
On-line trap                   :DISABLE
Off-line trap                  :DISABLE
Paper Out trap                 :DISABLE
Paper Jam trap                 :DISABLE
Cover Open trap                :DISABLE
Printer Error trap             :DISABLE
IPX Trap address               :"000000000000"
IPX Trap net                   :"00000000"
SMTP Transmit                  :DISABLE
SMTP Receive                   :DISABLE
SMTP server name               :""
SMTP port number               :25
E-Mail address                 :""
Reply-To address               :""
Signature line 1               :""
Signature line 2               :""
Signature line 3               :""
Signature line 4               :""
To Address 1                   :""
Re-send Interval               :DISABLE
Off Line                       :DISABLE
Consumable Message             :DISABLE
Toner Low/Out                  :DISABLE
Paper Low/Out                  :DISABLE
Paper Jam                      :DISABLE
Cover Open                     :DISABLE
Stacker Error                  :DISABLE
Mass Storage Error             :DISABLE
Recoverable Error              :DISABLE
Service Call Req.              :DISABLE
To Address 2                   :""
Re-send Interval               :DISABLE
Off Line                       :DISABLE
Consumable Message             :DISABLE
Toner Low/Out                  :DISABLE
Paper Low/Out                  :DISABLE
Paper Jam                      :DISABLE
Cover Open                     :DISABLE
Stacker Error                  :DISABLE
Mass Storage Error             :DISABLE
Recoverable Error              :DISABLE
Service Call Req.              :DISABLE
To Aaddress 3                  :""
Re-send Interval               :DISABLE
Off Line                       :DISABLE
Consumable Message             :DISABLE
Toner Low/Out                  :DISABLE
Paper Low/Out                  :DISABLE
Paper Jam                      :DISABLE
Cover Open                     :DISABLE
```

```
Stacker Error                  :DISABLE
Mass Storage Error             :DISABLE
Recoverable Error              :DISABLE
Service Call Req.              :DISABLE
To Address 4                   :""
Re-send Interval               :DISABLE
Off Line                       :DISABLE
Consumable Message             :DISABLE
Toner Low/Out                  :DISABLE
Paper Low/Out                  :DISABLE
Paper Jam                      :DISABLE
Cover Open                     :DISABLE
Stacker Error                  :DISABLE
Mass Storage Error             :DISABLE
Recoverable Error              :DISABLE
Service Call Req.              :DISABLE
To Address 5                   :""
Re-send Interval               :DISABLE
Off Line                       :DISABLE
Consumable Message             :DISABLE
Toner Low/Out                  :DISABLE
Paper Low/Out                  :DISABLE
Paper Jam                      :DISABLE
Cover Open                     :DISABLE
Stacker Error                  :DISABLE
Mass Storage Error             :DISABLE
Recoverable Error              :DISABLE
Service Call Req.              :DISABLE
POP3 protocol                  :DISABLE
POP3 server                    :""
POP port number                :110
POP3 server UserID             :""
POP3 server Password           :""
Use APOP                       :NO
Retrieve every(min.)           :OFF
```

2 WindowsXPをセットアップします

ネットワーク接続のセットアップについて

1 利用するプロトコルを決めます

WindowsXP では、LPR(TCP/IP)プロトコル、IPP(TCP/IP)プロトコルを利用する場合の二つのセットアップ手順があります。まず、どれを利用するか決めます。

プロトコル	
LPR(TCP/IP)プロトコル	LPR(TCP/IP)プロトコルは、プリンタやパソコンにIPアドレス等を設定して利用します。通常はこちらを使用します。
IPP(TCP/IP)プロトコル	IPP(TCP/IP)プロトコルは、Internet経由で遠隔地にあるプリンタに直接印刷する場合に利用します。ファイアウォールを越えた印刷が可能です。

2 セットアップの流れ

LPR(TCP/IP)プロトコル

Windows に IP アドレス等を設定します。

↓

プリンタのイーサネットボードにIP アドレス等を設定します。

↓

プリンタドライバを「通常使うローカルプリンタ(LPT1：)」としてセットアップします。

↓

ネットワークプリンタを作成します。

IPP(TCP/IP)プロトコル

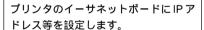
Windows に IP アドレス等を設定します。

↓

プリンタのイーサネットボードにIP アドレス等を設定します。

↓

プリンタドライバを「ネットワークプリンタ」としてセットアップします。

↓

ネットワークプリンタが作成されます。

LPR（TCP/IP）プロトコルを利用します

以下の環境を例にしています。

プリンタ	: CASIO SPEEDIA V2
IP アドレス	: 192.168.0.1（コンピュータ）、192.168.0.2（プリンタ）
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	: 0.0.0.0

注
- **IP アドレスの入力を間違えると、ネットワークがダウンするなど重大な障害が発生します。ネットワーク管理者と相談の上IP アドレスを決定してください。**
- **Internetをご利用の場合、接続しているプロバイダやルータメーカーに、プリンタに設定できる IP アドレス等を確認してください。**
- **セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。**

メモ **コンピュータ1台とプリンタ1台を接続するような小規模ネットワークでは、次のように設定してください（「RFC1918」による）。**

コンピュータ

IP アドレス	: 192.168.0.1 〜 254 のいずれか
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイ	: 0.0.0.0（使用しません）
DNS	: 使用しません

プリンタ

IP アドレス	: 192.168.0.1 〜 254 のいずれか （コンピュータと異なるもの）
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイ	: 0.0.0.0
DHCP/BOOTP を使用する	: チェックしない
RARP を使用する	: チェックしない

WindowsXP を設定します

以下の説明は、WindowsXP を例にしています。

注 **すでに Windows に IP アドレス等を設定している場合は、「イーサネットボードを設定します」（27 ページ）へ進みます。**

❶ Windows を起動します。

❷ ［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［ネットワークとインターネット接続］をクリックします。

❸ ［コントロールパネルを選んで実行します］の［ネットワーク接続］をクリックします。

❹ ［ローカルエリア接続］をダブルクリックし、［プロパティ］をクリックします。

❺ ［インターネットプロトコル（TCP/IP)］を選択し、［プロパティ］をクリックします。

❻ IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバを入力し、［OK］をクリックします。

メモ
- **DHCPサーバからIPアドレスを自動取得する場合は、「IPアドレスを自動的に取得する」を選択し、IPアドレスは入力しません。**
- **デフォルトゲートウェイやDNSサーバを使用しない場合は、入力しません。**

❼ ［ローカルエリア接続］を閉じます。

イーサネットボードを設定します

Standard Setup（CVO AdminManager）を使用します。

❶ プリンタの電源が ON になっていることを確認します。

❷ イーサネットボード付属の「ネットワークソフトウェア CD-ROM」をセットします。

Setup Utility が自動的に起動します。

注 **自動的に起動しない場合は、CD-ROM の［Windows］フォルダの中の［Autorun.exe］をダブルクリックしてください。**

❸ ［Network Device Standard Setup］をクリックします。

❹ ［インストールせずに、直接CD-ROMから起動する］を選択し、［次へ］をクリックします。

❺ 使用許諾契約に同意する場合は［はい］をクリックします。

CVO AdminManager が起動します。

❻ 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うイーサネットボードを選択します。

注
- **イーサネットアドレスは、自己診断テストに表示されています。**
- **初期設定では「DHCP/BOOTP protocol」が「ENABLE」（有効）になっています。ネットワーク上にDHCP/BOOTPサーバがある場合はサーバから取得したIPアドレスが表示されます。**

❼ ［設定］メニューの［Network Deviceの設定］を選択します。

「General」タブ画面が表示されたら？

☞ ⓬へ進みます。

❽ IP アドレスを設定するメッセージがでるので、［はい］をクリックします。

❾ IP アドレスを入力し、[OK] をクリックします。

❿ 設定値を有効にするために [はい] をクリックします。

しばらくすると、一覧にイーサネットボードが表示されます。表示されてこない場合は [ファイル] メニューの [検索] を選択してください。

⓫ 一覧より、イーサネットボードを選択し、[設定] メニューの [Network Device の設定] を選択します。

⓬ [TCP/IP]タブの各項目を設定し、[設定] をクリックします。

❶ 「TCP/IP プロトコルを使用する」にチェックを付けます。

❷ 「DHCP/BOOTP を使用する」「RARP を使用する」のチェックを外します。

❸ 「IP アドレス」を入力します。

❹ 「サブネットマスク」を入力します。

❺ 「デフォルトゲートウェイ」を入力します。

❻ 「FTP/LPD バナーを使用する」のチェックを外します。

- **初期設定では「DHCP/BOOTP を使用する」にチェックが入っています。IP アドレスを設定すると自動的にチェックが外れます。**
- **「DNS サーバ」は SMTP(E-Mail)送信プロトコルを使用するときのみ設定します。**

⓭ 設定に間違いがなければ、[OK] をクリックします。

設定値がイーサネットボードに送信されます。

この時点では、イーサネットボードは送信前の設定値で動作しています。

⓮ 設定値を有効にするために、[はい] をクリックします。

⓯ CVO AdminManager を終了します。

プリンタソフトウェアをセットアップします

以下の説明は、WindowsXP を例にしています。

❶ 一旦「通常使うローカルプリンタ（LPT1：）」としてプリンタドライバをセットアップします。

プリンタドライバのセットアップ方法は、プリンタのユーザーズマニュアルをご覧ください。

❷［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

❸［コントロールパネルを選んで実行します］の［プリンタと FAX］をクリックします。

❹ 手順❶で追加したプリンタを右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❺［ポート］タブの［ポートの追加］をクリックします。

❻［Standard TCP/IP Port］を選択し、［新しいポート］をクリックします。

注 **［Standard TCP/IP Port］以外は選択しないでください。**

❼ 標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードが表示されたら、［次へ］をクリックします。

❽［プリンタ名またはIP アドレス］と［ポート名］を入力し、［次へ］をクリックします。

IP アドレスに1桁または2桁までの数値を含む場合、数値の前に「0」を入力しないでください。通信が正しく行われない場合があります。

（例）正しい入力値：192.168.0.2
誤った入力値：192.168.000.002

［ポート名］は任意の名前を付けてください。デフォルトはIP_（IP アドレス）です。

ネットワーク上のイーサネットボードを検索します。

❾［デバイスの種類］で［カスタム］を選択し、［設定］をクリックします。

❿［プロトコル］が［Raw］、［ポート番号］が［9100］、［SNMPステータスを有効にする］のチェックが外れていることを確認し、［OK］をクリックします。

⓫［次へ］をクリックします。

⓬［完了］をクリックし、プロパティを閉じます。

セットアップは終了です。

IPP（TCP/IP）プロトコルを利用します

以下の環境を例にしています。

プリンタ	: CASIO SPEEDIA V2
IP アドレス	: 192.168.0.1（コンピュータ）、192.168.0.2（プリンタ）
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	: 0.0.0.0

注

- **IP アドレスの入力を間違えると、ネットワークがダウンするなど重大な障害が発生します。ネットワーク管理者と相談の上IP アドレスを決定してください。**
- **Internetをご利用の場合、接続しているプロバイダやルータメーカーに、プリンタに設定できる IP アドレス等を確認してください。**
- **セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。**

メモ **コンピュータ1台とプリンタ1台を接続するような小規模ネットワークでは、次のように設定してください（「RFC1918」による）。**

コンピュータ

IP アドレス	: 192.168.0.1 ～ 254 のいずれか
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイ	: 0.0.0.0（使用しません）
DNS	: 使用しません

プリンタ

IP アドレス	: 192.168.0.1 ～ 254 のいずれか （コンピュータと異なるもの）
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイ	: 0.0.0.0
DHCP/BOOTP を使用する	: チェックしない
RARP を使用する	: チェックしない

WindowsXP を設定します

以下の説明は、WindowsXP を例にしています。

すでに Windows に IP アドレス等を設定している場合は、「イーサネットボードを設定します」（33 ページ）へ進みます。

❶ Windows を起動します。

❷ ［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［ネットワークとインターネット接続］をクリックします。

❸ ［コントロールパネルを選んで実行します］の［ネットワーク接続］をクリックします。

❹ ［ローカルエリア接続］をダブルクリックし、［プロパティ］をクリックします。

❺ ［インターネットプロトコル（TCP/IP)］を選択し、［プロパティ］をクリックします。

❻ IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバを入力し、［OK］をクリックします。

メモ

- **DHCPサーバからIPアドレスを自動取得する場合は、「IPアドレスを自動的に取得する」を選択し、IPアドレスは入力しません。**
- **デフォルトゲートウェイやDNSサーバを使用しない場合は、入力しません。**

❼ ［ローカルエリア接続］を閉じます。

イーサネットボードを設定します

Standard Setup（CVO AdminManager）を使用します。

❶ プリンタの電源がONになっていることを確認します。

❷ イーサネットボード付属の「ネットワークソフトウェアCD-ROM」をセットします。

Setup Utilityが自動的に起動します。

注 **自動的に起動しない場合は、CD-ROMの［Windows］フォルダの中の［Autorun.exe］をダブルクリックしてください。**

❸ ［Network Device Standard Setup］をクリックします。

❹ ［インストールせずに、直接CD-ROMから起動する］を選択し、［次へ］をクリックします。

❺ 使用許諾契約に同意する場合は［はい］をクリックします。

CVO AdminManagerが起動します。

❻ 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うイーサネットボードを選択します。

注
- **イーサネットアドレスは、自己診断テストに表示されています。**
- **初期設定では「DHCP/BOOTP protocol」が「ENABLE」（有効）になっています。ネットワーク上にDHCP/BOOTPサーバがある場合はサーバから取得したIPアドレスが表示されます。**

❼ ［設定］メニューの［Network Deviceの設定］を選択します。

「General」タブ画面が表示されたら？

☞ ⓬へ進みます。

❽ IP アドレスを設定するメッセージがでるので、[はい] をクリックします。

❾ IPアドレスを入力し、[OK] をクリックします。

❿ 設定値を有効にするために [はい] をクリックします。

しばらくすると、一覧にイーサネットボードが表示されます。表示されてこない場合は [ファイル] メニューの [検索] を選択してください。

⓫ 一覧より、イーサネットボードを選択し、[設定] メニューの [Network Device の設定] を選択します。

⓬ [TCP/IP]タブの各項目を設定し、[設定] をクリックします。

❶ 「TCP/IP プロトコルを使用する」にチェックを付けます。

❷ 「DHCP/BOOTP を使用する」「RARPを使用する」のチェックを外します。

❸ 「IP アドレス」を入力します。

❹ 「サブネットマスク」を入力します。

❺ 「デフォルトゲートウェイ」を入力します。

❻ 「FTP/LPD バナーを使用する」のチェックを外します。

- **初期設定では「DHCP/BOOTP を使用する」にチェックが入っています。IP アドレスを設定すると自動的にチェックが外れます。**
- **「DNS サーバ」は SMTP(E-Mail)送信プロトコルを使用するときのみ設定します。**

⓭ [SNMP] タブの [SysName] にプリンタ名を入力し、[設定] をクリックします。

メモ **プリンタ名は 255 文字以内の任意の名前を付けてください。デフォルトは「なし(空白)」です。**

⓮ 設定に間違いがなければ、[OK] をクリックします。

設定値がイーサネットボードに送信されます。

この時点では、イーサネットボードは送信前の設定値で動作しています。

⓯ 設定値を有効にするために、[はい] をクリックします。

⓰ CVO AdminManager を終了します。

プリンタソフトウェアをセットアップします

以下の説明は、WindowsXP を例にしています。

❶ ［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

❷ ［コントロールパネルを選んで実行します］の［プリンタと FAX］をクリックします。

❸ ［プリンタのタスク］-［プリンタのインストール］をクリックします。

❹ 「プリンタの追加ウィザードの開始」画面で、［次へ］をクリックします。

❺ ［ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

❻ ［インターネット上または自宅/会社のネットワーク上のプリンタに接続する］を選択し、プリンタの URL を入力し、［次へ］をクリックします。

例 1）プリンタの IP アドレスが「192.168.0.2」の場合

http://192.168.0.2/ipp/lp

例 2）プリンタの URL が「ipp-printer1.casio.co.jp」の場合

http://ipp-printer1.casio.co.jp/ipp/lp

注 **IP アドレスに 1 桁または 2 桁までの数値を含む場合、数値の前に「0」を入力しないでください。通信が正しく行われない場合があります。**

（例）正しい入力値：

http://192.168.0.2/ipp/lp

誤った入力値：

http://192.168.000.002/ipp/lp

❼［ディスク使用］をクリックし、プリンタドライバをインストールします。

プリンタドライバのセットアップ方法は、プリンタのユーザーズマニュアルをご覧ください。

❽［完了］をクリックします。

［プリンタとFAX］にプリンタのアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

3 WindowsMe/98/95をセットアップします

ネットワーク接続のセットアップについて

1　利用するプロトコルを決めます

WindowsMe/98/95 では、LPR(TCP/IP)プロトコルと NetBEUI プロトコルを利用する場合の二つのセットアップ手順があります。まず、どちらを利用するか決めます。

プロトコル	
LPR(TCP/IP)プロトコル	LPR(TCP/IP)プロトコルは、プリンタやパソコンにIP アドレス等を設定して利用します。通常はこちらを使用します。
NetBEUI プロトコル	NetBEUI プロトコルは、小規模なネットワークで使用する場合に利用します。他のユーザが印刷中はエラーメッセージが表示され、印刷できないことがあります。

2　セットアップの流れ

LPR(TCP/IP)プロトコル

Windows にTCP/IP プロトコルをインストールし、IP アドレス等を設定します。

↓

プリンタのイーサネットボードにIP アドレス等を設定します。

↓

プリンタドライバを「通常使うローカルプリンタ(LPT1 :)」としてセットアップします。

↓

CVO LPRユーティリティ(LPR 印刷機能)をWindowsにインストールし、ネットワークプリンタを作成します。

NetBEUI プロトコル

Windows に NetBEUI プロトコルをインストールします。

↓

プリンタドライバを「通常使うローカルプリンタ(LPT1 :)」としてセットアップします。

↓

ネットワークプリンタを作成します。

LPR（TCP/IP）プロトコルを利用します

以下の環境を例にしています。

プリンタ	: CASIO SPEEDEA V2
IP アドレス	: 192.168.0.1（コンピュータ）、192.168.0.2（プリンタ）
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	: 0.0.0.0

注

- **IP アドレスの入力を間違えると、ネットワークがダウンするなど重大な障害が発生します。ネットワーク管理者と相談の上IP アドレスを決定してください。**
- **Internetをご利用の場合、接続しているプロバイダやルータメーカーに、プリンタに設定できる IP アドレス等を確認してください。**

メモ **コンピュータ1台とプリンタ1台を接続するような小規模ネットワークでは、次のように設定してください（「RFC1918」による）。**

コンピュータ

IP アドレス	: 192.168.0.1 ～ 254 のいずれか
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイ	: 0.0.0.0（使用しません）
DNS	: 使用しません

プリンタ

IP アドレス	: 192.168.0.1 ～ 254 のいずれか （コンピュータと異なるもの）
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイ	: 0.0.0.0
DHCP/BOOTP を使用する	: チェックしない
RARP を使用する	: チェックしない

WindowsMe/98/95 を設定します

以下の説明は、Windows98 を例にしています。

すでに Windows に IP アドレス等を設定している場合は、「イーサネットボードを設定します」（41 ページ）へ進みます。

❶ Windows を起動します。

❷ ［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］を選択します。

❸ ［ネットワーク］をダブルクリックします。
WindowsMeで［ネットワーク］が表示されていない場合は、［すべてのコントロールパネルのオプションを表示する］をクリックします。

［現在のネットワークコンポーネント］に［TCP/IP→*** (***はアダプタ名)］が表示されている場合は?

☞ ❼へ進みます。

❹ 「ネットワークの設定」タブの［追加］をクリックします。

❺ ［プロトコル］を選択し、［追加］をクリックします。

❻ ［Microsoft］を選択して［TCP/IP］を選択し、［OK］をクリックします。

❼ ［TCP/IP→***］(***はアダプタ名)を選択し、［プロパティ］をクリックします。

❽ ［IP アドレス］タブでIP アドレス、サブネットマスク、［ゲートウェイ］タブでゲートウェイ、［DNS設定］タブでDNSを入力し、［OK］をクリックします。

メモ **DHCP サーバから IP アドレスを自動取得する場合は、「IP アドレスを自動的に取得する」を選択し、IP アドレスは入力しません。**

❾ Windows を再起動します。

イーサネットボードを設定します

Standard Setup（CVO AdminManager）を使用します。

❶ プリンタの電源がONになっていることを確認します。

❷ イーサネットボード付属の「ネットワークソフトウェアCD-ROM」をセットします。

Setup Utilityが自動的に起動します。

注 **自動的に起動しない場合は、CD-ROMの［Windows］フォルダの中の［Autorun.exe］をダブルクリックしてください。**

❸ ［Network Device Standard Setup］をクリックします。

❹ ［インストールせずに、直接CD-ROMから起動する］を選択し、［次へ］をクリックします。

❺ 使用許諾契約に同意する場合は［はい］をクリックします。

CVO AdminManagerが起動します。

❻ 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うイーサネットボードを選択します。

注
- **イーサネットアドレスは、自己診断テストに表示されています。**
- **初期設定では「DHCP/BOOTP protocol」が「ENABLE」（有効）になっています。ネットワーク上にDHCP/BOOTPサーバがある場合はサーバから取得したIPアドレスが表示されます。**

❼ ［設定］メニューの［Network Deviceの設定］を選択します。

「General」タブ画面が表示されたら？

☞ ⓬へ進みます。

❽ IP アドレスを設定するメッセージがでるので、[はい]をクリックします。

❾ IP アドレスを入力し、[OK] をクリックします。

❿ 設定値を有効にするために [はい] をクリックします。

しばらくすると、一覧にイーサネットボードが表示されます。表示されてこない場合は [ファイル] メニューの [検索] を選択してください。

⓫ 一覧より、イーサネットボードを選択し、[設定] メニューの [Network Device の設定] を選択します。

⓬ [TCP/IP]タブの各項目を設定し、[設定] をクリックします。

❶ 「TCP/IP プロトコルを使用する」にチェックを付けます。

❷ 「DHCP/BOOTP を使用する」「RARP を使用する」のチェックを外します。

❸ 「IP アドレス」を入力します。

❹ 「サブネットマスク」を入力します。

❺ 「デフォルトゲートウェイ」を入力します。

❻ 「FTP/LPD バナーを使用する」のチェックを外します。

- **初期設定では「DHCP/BOOTP を使用する」にチェックが入っています。IP アドレスを設定すると自動的にチェックが外れます。**
- **「DNS サーバ」は SMTP(E-Mail)送信プロトコルを使用するときのみ設定します。**

⓭ 設定に間違いがなければ、[OK] をクリックします。

設定値がイーサネットボードに送信されます。

この時点では、イーサネットボードは送信前の設定値で動作しています。

⓮ 設定値を有効にするために、[はい] をクリックします。

⓯ CVO AdminManager を終了します。

プリンタソフトウェアをセットアップします

WindowsMe/98/95にはLPR印刷機能が搭載されていませんので「CVO LPRユーティリティ」を使用します。
以下の説明は、Windows98を例にしています。

❶ 一旦「通常使うローカルプリンタ(LPT1 :)」としてプリンタドライバをセットアップします。

プリンタドライバのセットアップ方法は、プリンタのユーザーズマニュアルをご覧ください。

❷ イーサネットボード付属の「ネットワークソフトウェアCD-ROM」をセットします。

Setup Utility が自動的に起動します。

❸ ［Exit］をクリックして終了します。

❹ ［スタート］-［ファイル名を指定して実行］を選択します。

❺ ［名前］に次のように入力し、［OK］をクリックします。

D:\LPR\SETUP
CD-ROM ドライブが D:の場合

❻ セットアッププログラムが開始されるので、［次へ］をクリックします。

❼ 製品ライセンス契約に同意する場合は［はい］をクリックします。

❽ インストール先とスプール先のフォルダを確認し、［次へ］をクリックします。

❾ ［スタートアップに登録する］にチェックが入っていることを確認し、［次へ］をクリックします。

❿ プログラムフォルダ名を確認し、［次へ］をクリックします。

⓫ ［完了］をクリックすると、CVO LPRユーティリティが起動します。

⓬［リモートプリント］メニューの［プリンタの追加］を選択します。

⓭［プリンタ］を選択し、［IPアドレス］にイーサネットボードのIPアドレスを入力し、［OK］をクリックします。

メモ **［検索］をクリックしてネットワーク上のプリンタを検索することもできます。**

メインウィンドウにプリンタが追加されます。

セットアップは終了です。

CVO LPRユーティリティを起動させたまま、アプリケーションソフトから印刷します。

NetBEUI プロトコルを利用します

WindowsMe/98/95 を設定します

以下の説明は、Windows98 を例にしています。

❶ Windows を起動します。

❷ ［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］を選択します。

❸ ［ネットワーク］をダブルクリックします。
WindowsMeで［ネットワーク］が表示されていない場合は、［すべてのコントロールパネルのオプションを表示する］をクリックします。

［現在のネットワークコンポーネント］に[Microsoft ネットワーククライアント]と［NetBEUI→***］（*** はアダプタ名）が表示されている場合は?

☞「プリンタソフトウェアをセットアップします」
（46 ページ）へ進みます。

［Microsoft ネットワーククライアント］を追加します。

❹ ［追加］をクリックします。

❺ ［クライアント］を選択し、［追加］をクリックします。

❻ ［Microsoft］を選択し、［Microsoftネットワーククライアント］を選択し、［OK］をクリックします。

［NetBEUI］プロトコルを追加します。

❼ ［追加］をクリックします。

❽ ［プロトコル］を選択し、［追加］をクリックします。

❾ ［Microsoft］を選択し、［NetBEUI］を選択し、［OK］をクリックします。

❿ Windows を再起動します。

プリンタソフトウェアをセットアップします

❶ 一旦「通常使うローカルプリンタ（LPT1：）」としてプリンタドライバをセットアップします。

プリンタドライバのセットアップ方法は、プリンタのユーザーズマニュアルをご覧ください。

❷［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❸ 手順❶で追加したプリンタを右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❹［詳細］タブの［ポートの追加］をクリックします。

❺［ネットワーク］を選択し、［参照］をクリックします。

❻［ネットワーク全体］-［PrintServer］-［ETHER******］（****** はイーサネットアドレスの下 6 桁）をダブルクリックし

注 **［PrintServer］と［ETHER******］は、自己診断テストに表示される［Workgroup name］と［Machine name］です。**

❼［Prn1］を選択し、［OK］をクリックします。

❽［プリンタへのネットワークパス］が指定されたことを確認し、［OK］をクリックします。

❾ プロパティを閉じます。

セットアップは終了です。

4 Windows2000をセットアップします

ネットワーク接続のセットアップについて

1 利用するプロトコルを決めます

Windows2000 では、LPR(TCP/IP)プロトコル、IPP(TCP/IP)プロトコル、NetBEUI プロトコルを利用する場合の三つのセットアップ手順があります。まず、どれを利用するか決めます。

プロトコル	
LPR(TCP/IP)プロトコル	LPR(TCP/IP)プロトコルは、プリンタやパソコンにIPアドレス等を設定して利用します。通常はこちらを使用します。
IPP(TCP/IP)プロトコル	IPP(TCP/IP)プロトコルは、Internet経由で遠隔地にあるプリンタに直接印刷する場合に利用します。ファイアウォールを越えた印刷が可能です。
NetBEUI プロトコル	NetBEUIプロトコルは、小規模なネットワークで使用する場合に利用します。他のユーザが印刷中はエラーメッセージが表示され、印刷できないことがあります。

2 セットアップの流れ

LPR(TCP/IP)プロトコル

Windows に IP アドレス等を設定します。
↓
プリンタのイーサネットボードにIP アドレス等を設定します。
↓
プリンタドライバを「通常使うローカルプリンタ(LPT1 :)」としてセットアップします。
↓
ネットワークプリンタを作成します。

IPP(TCP/IP)プロトコル

Windows に IP アドレス等を設定します。
↓
プリンタのイーサネットボードにIP アドレス等を設定します。
↓
プリンタドライバを「ネットワークプリンタ」としてセットアップします。
↓
ネットワークプリンタが作成されます。

NetBEUI プロトコル

Windows に NetBEUI プロトコルをインストールします。
↓
プリンタドライバを「通常使うローカルプリンタ(LPT1 :)」としてセットアップします。
↓
ネットワークプリンタを作成します。

LPR（TCP/IP）プロトコルを利用します

以下の環境を例にしています。

プリンタ　　　　　　　: CASIO SPEEDIA V2
IP アドレス　　　　　　: 192.168.0.1（コンピュータ）、192.168.0.2（プリンタ）
サブネットマスク　　　: 255.255.255.0
ゲートウェイアドレス　: 0.0.0.0

注

- **IP アドレスの入力を間違えると、ネットワークがダウンするなど重大な障害が発生します。ネットワーク管理者と相談の上IP アドレスを決定してください。**
- **Internetをご利用の場合、接続しているプロバイダやルータメーカーに、プリンタに設定できる IP アドレス等を確認してください。**
- **セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。**

メモ **コンピュータ1台とプリンタ1台を接続するような小規模ネットワークでは、次のように設定してください（「RFC1918」による）。**

コンピュータ

IP アドレス　　　　　: 192.168.0.1 ～ 254 のいずれか
サブネットマスク　　: 255.255.255.0
ゲートウェイ　　　　: 0.0.0.0（使用しません）
DNS　　　　　　　　: 使用しません

プリンタ

IP アドレス　　　　　　　　: 192.168.0.1 ～ 254 のいずれか
　　　　　　　　　　　　　　（コンピュータと異なるもの）
サブネットマスク　　　　　: 255.255.255.0
ゲートウェイ　　　　　　　: 0.0.0.0
DHCP/BOOTP を使用する　: チェックしない
RARP を使用する　　　　　: チェックしない

Windows2000 を設定します

すでに Windows に IP アドレス等を設定している場合は、「イーサネットボードを設定します」（51 ページ）へ進みます。

❶ Windows を起動します。

❷ ［スタート］-［設定］-［ネットワークとダイアルアップ接続］を選択します。

❸ ［ローカルエリア接続］をダブルクリックし、［プロパティ］をクリックします。

❹ ［インターネットプロトコル（TCP/IP)］を選択し、［プロパティ］をクリックします。

❺ IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバを入力し、［OK］をクリックします。

メモ
- **DHCPサーバからIPアドレスを自動取得する場合は､｢IPアドレスを自動的に取得する」を選択し､IPアドレスは入力しません｡**
- **デフォルトゲートウェイやDNSサーバを使用しない場合は、入力しません。**

❺ ［ローカルエリア接続］を閉じます。

イーサネットボードを設定します

Standard Setup（CVO AdminManager）を使用します。

❶ プリンタの電源が ON になっていることを確認します。

❷ イーサネットボード付属の「ネットワークソフトウェア CD-ROM」をセットします。

Setup Utility が自動的に起動します。

注 **自動的に起動しない場合は、CD-ROM の［Windows］フォルダの中の［Autorun.exe］をダブルクリックしてください。**

❸ ［Network Device Standard Setup］をクリックします。

❹ ［インストールせずに、直接CD-ROMから起動する］を選択し、［次へ］をクリックします。

❺ 使用許諾契約に同意する場合は［はい］をクリックします。

CVO AdminManager が起動します。

❻ 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うイーサネットボードを選択します。

注
- **イーサネットアドレスは、自己診断テストに表示されています。**
- **初期設定では「DHCP/BOOTP protocol」が「ENABLE」（有効）になっています。ネットワーク上にDHCP/BOOTPサーバがある場合はサーバから取得したIPアドレスが表示されます。**

❼ ［設定］メニューの［OKI Deviceの設定］を選択します。

「General」タブ画面が表示されたら？

☞ ⓬ へ進みます。

❽ IP アドレスを設定するメッセージがでるので、［はい］をクリックします。

❾ IP アドレスを入力し、［OK］をクリックします。

❿ 設定値を有効にするために［はい］をクリックします。

しばらくすると、一覧にイーサネットボードが表示されます。表示されてこない場合は［ファイル］メニューの［検索］を選択してください。

⓫ 一覧より、イーサネットボードを選択し、［設定］メニューの［Network Device の設定］を選択します。

⓬ ［TCP/IP］タブの各項目を設定し、［設定］をクリックします。

❶ 「TCP/IP プロトコルを使用する」にチェックを付けます。

❷ 「DHCP/BOOTP を使用する」「RARP を使用する」のチェックを外します。

❸ 「IP アドレス」を入力します。

❹ 「サブネットマスク」を入力します。

❺ 「デフォルトゲートウェイ」を入力します。

❻ 「FTP/LPD バナーを使用する」のチェックを外します。

- **初期設定では「DHCP/BOOTP を使用する」にチェックが入っています。IP アドレスを設定すると自動的にチェックが外れます。**
- **「DNS サーバ」は SMTP（E-Mail）送信プロトコルを使用するときのみ設定します。**

⓭ 設定に間違いがなければ、［OK］をクリックします。

設定値がイーサネットボードに送信されます。

この時点では、イーサネットボードは送信前の設定値で動作しています。

⓮ 設定値を有効にするために、［はい］をクリックします。

⓯ CVO AdminManager を終了します。

プリンタソフトウェアをセットアップします

❶ 一旦「通常使うローカルプリンタ（LPT1：）」としてプリンタドライバをセットアップします。

プリンタドライバのセットアップ方法は、プリンタのユーザーズマニュアルをご覧ください。

❷［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❸ 手順❶で追加したプリンタを右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❹［ポート］タブの［ポートの追加］をクリックします。

❺［Standard TCP/IP Port］を選択し、［新しいポート］をクリックします。

注 ［Standard TCP/IP Port］以外は選択しないでください。

❻ 標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザードが表示されたら、［次へ］をクリックします。

❼［プリンタ名またはIPアドレス］と［ポート名］を入力し、［次へ］をクリックします。

注 IPアドレスに1桁または2桁までの数値を含む場合、数値の前に「0」を入力しないでください。通信が正しく行われない場合があります。

（例）正しい入力値：192.168.0.2
誤った入力値：192.168.000.002

メモ ［ポート名］は任意の名前を付けてください。デフォルトはIP_（IPアドレス）です。

ネットワーク上のイーサネットボードを検索します。

❽ ［デバイスの種類］で［カスタム］を選択し、［設定］をクリックします。

❾ ［プロトコル］が［RAW］、［ポート番号］が［9100］、［SNMPステータスを有効にする］のチェックが外れていることを確認し、［OK］をクリックします。

❿ ［次へ］をクリックします。

⓫ ［完了］をクリックし、プロパティを閉じます。

セットアップは終了です。

IPP（TCP/IP）プロトコルを利用します

以下の環境を例にしています。

プリンタ	: CASIO SPEEDIA V2
IP アドレス	: 192.168.0.1（コンピュータ）、192.168.0.2（プリンタ）
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	: 0.0.0.0

注

- **IP アドレスの入力を間違えると、ネットワークがダウンするなど重大な障害が発生します。ネットワーク管理者と相談の上IP アドレスを決定してください。**
- **Internetをご利用の場合、接続しているプロバイダやルータメーカーに、プリンタに設定できる IP アドレス等を確認してください。**
- **セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。**

メモ **コンピュータ1台とプリンタ1台を接続するような小規模ネットワークでは、次のように設定してください（「RFC1918」による）。**

コンピュータ

IP アドレス	: 192.168.0.1 〜 254 のいずれか
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイ	: 0.0.0.0（使用しません）
DNS	: 使用しません

プリンタ

IP アドレス	: 192.168.0.1 〜 254 のいずれか （コンピュータと異なるもの）
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイ	: 0.0.0.0
DHCP/BOOTP を使用する	: チェックしない
RARP を使用する	: チェックしない

Windows2000を設定します

すでにWindowsにIPアドレス等を設定している場合は、「イーサネットボードを設定します」（57ページ）へ進みます。

❶ Windowsを起動します。

❷ ［スタート］-［設定］-［ネットワークとダイアルアップ接続］を選択します。

❸ ［ローカルエリア接続］をダブルクリックし、［プロパティ］をクリックします。

❹ ［インターネットプロトコル（TCP/IP)］を選択し、［プロパティ］をクリックします。

❺ IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバを入力し、［OK］をクリックします。

メモ

- **DHCPサーバからIPアドレスを自動取得する場合は、「IPアドレスを自動的に取得する」を選択し、IPアドレスは入力しません。**
- **デフォルトゲートウェイやDNSサーバを使用しない場合は、入力しません。**

❻ ［ローカルエリア接続］を閉じます。

イーサネットボードを設定します

Standard Setup（CVO AdminManager）を使用します。

❶ プリンタの電源がONになっていることを確認します。

❷ イーサネットボード付属の「ネットワークソフトウェアCD-ROM」をセットします。

Setup Utilityが自動的に起動します。

注 **自動的に起動しない場合は、CD-ROMの［Windows］フォルダの中の［Autorun.exe］をダブルクリックしてください。**

❸ ［Network Device Standard Setup］をクリックします。

❹ ［インストールせずに、直接CD-ROMから起動する］を選択し、［次へ］をクリックします。

❺ 使用許諾契約に同意する場合は［はい］をクリックします。

CVO AdminManagerが起動します。

❻ 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うイーサネットボードを選択します。

注
- **イーサネットアドレスは、自己診断テストに表示されています。**
- **初期設定では「DHCP/BOOTP protocol」が「ENABLE」（有効）になっています。ネットワーク上にDHCP/BOOTPサーバがある場合はサーバから取得したIPアドレスが表示されます。**

❼ ［設定］メニューの［CVO Deviceの設定］を選択します。

「General」タブ画面が表示されたら？

☞ ⓬へ進みます。

❽ IPアドレスを設定するメッセージがでるので、［はい］をクリックします。

❾ IP アドレスを入力し、[OK] をクリックします。

❿ 設定値を有効にするために [はい] をクリックします。

しばらくすると、一覧にイーサネットボードが表示されます。表示されてこない場合は [ファイル] メニューの [検索] を選択してください。

⓫ 一覧より、イーサネットボードを選択し、[設定] メニューの [Network Device の設定] を選択します。

⓬ [TCP/IP]タブの各項目を設定し、[設定] をクリックします。

❶「TCP/IP プロトコルを使用する」にチェックを付けます。

❷「DHCP/BOOTP を使用する」「RARP を使用する」のチェックを外します。

❸「IP アドレス」を入力します。

❹「サブネットマスク」を入力します。

❺「デフォルトゲートウェイ」を入力します。

❻「FTP/LPD バナーを使用する」のチェックを外します。

- **初期設定では「DHCP/BOOTP を使用する」にチェックが入っています。IP アドレスを設定すると自動的にチェックが外れます。**
- **「DNS サーバ」は SMTP（E-Mail）送信プロトコルを使用するときのみ設定します。**

⓭ 設定に間違いがなければ、[OK] をクリックします。

設定値がイーサネットボードに送信されます。

この時点では、イーサネットボードは送信前の設定値で動作しています。

⓮ 設定値を有効にするために、[はい] をクリックします。

⓯ CVO AdminManager を終了します。

プリンタソフトウェアをセットアップします

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ ［プリンタの追加］をダブルクリックします。

プリンタの追加ウィザードが起動します。

❸ ［次へ］をクリックします。

❹ ［ネットワークプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

❺ ［インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します］を選択し、プリンタのURLを入力し、［次へ］をクリックします。

例 1）プリンタの IP アドレスが「192.168.0.2」の場合
http://192.168.0.2/ipp/lp

例 2）プリンタの URL が「ipp-printer1.casio.co.jp」の場合
http://ipp-printer1.casio.co.jp/ipp/lp

注 **IP アドレスに1桁または2桁までの数値を含む場合、数値の前に「0」を入力しないでください。通信が正しく行われない場合があります。**

（例）正しい入力値：
http://192.168.0.2/ipp/lp
誤った入力値：
http://192.168.000.002/ipp/lp

❻ ［OK］をクリックします。

❼ ［ディスク使用］をクリックし、プリンタドライバをインストールします。

プリンタドライバのセットアップ方法は、プリンタのユーザーズマニュアルをご覧ください。

❽ ［完了］をクリックします。

［プリンタ］フォルダにプリンタのアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

NetBEUI プロトコルを利用します

注 ・ネットワークの管理者の権限が必要です。

Windows2000 を設定します

❶［スタート］-［設定］-［ネットワークとダイアルアップ接続］を選択します。

❷［ローカルエリア接続］をダブルクリックし、［プロパティ］をクリックします。

［NetBEUI プロトコル］が表示されている場合は？

☞「プリンタソフトウェアをセットアップします」（61 ページ）へ進みます。

❸［インストール］をクリックします。

❹［プロトコル］を選択し、［追加］をクリックします。

❺［NetBEUIプロトコル］を選択し、［OK］をクリックします。

❻［ローカルエリア接続］を閉じます。

プリンタソフトウェアをセットアップします

❶ 一旦「通常使うローカルプリンタ（LPT1：)」としてプリンタドライバをセットアップします。

プリンタドライバのセットアップ方法は、プリンタのユーザーズマニュアルをご覧ください。

❷［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❸ 手順❶で追加したプリンタを右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❹［ポート］タブの［ポートの追加］をクリックします。

❺［LocalPort］を選択し、［新しいポート］をクリックします。

注 ［LocalPort］以外は選択しないでください。

❻［ポート名を入力してください］に［\\ETHER******\PRN1］（****** はイーサネットアドレスの下6桁）と入力し、［OK］をクリックします。

注 「ETHER****」は自己診断テストに表示される「Machine name」です。**

❼ プロパティを閉じます。

セットアップは終了です。

5 WindowsNT4.0をセットアップします

ネットワーク接続のセットアップについて

1　利用するプロトコルを決めます

WindowsNT4.0では、LPR(TCP/IP)プロトコルとNetBEUIプロトコルを利用する場合の二つのセットアップ手順があります。まず、どちらを利用するか決めます。

プロトコル	
LPR(TCP/IP)プロトコル	LPR(TCP/IP)プロトコルは、プリンタやパソコンにIPアドレス等を設定して利用します。通常はこちらを使用します。
NetBEUI プロトコル	NetBEUI プロトコルは、小規模なネットワークで使用する場合に利用します。他のユーザが印刷中はエラーメッセージが表示され、印刷できないことがあります。

2　セットアップの流れ

LPR(TCP/IP)プロトコル

Windows にTCP/IP プロトコルをインストールし、IP アドレス等を設定します。

↓

プリンタのイーサネットボードにIP アドレス等を設定します。

↓

プリンタドライバを「通常使うローカルプリンタ(LPT1 :)」としてセットアップします。

↓

ネットワークプリンタを作成します。

NetBEUI プロトコル

Windows に NetBEUI プロトコルをインストールします。

↓

プリンタドライバを「通常使うローカルプリンタ(LPT1 :)」としてセットアップします。

↓

ネットワークプリンタを作成します。

LPR（TCP/IP）プロトコルを利用します

以下の環境を例にしています。

プリンタ	: CASIO SPEEDIA V2
IP アドレス	: 192.168.0.1（コンピュータ）、192.168.0.2（プリンタ）
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	: 0.0.0.0

注

- **IPアドレスの入力を間違えると、ネットワークがダウンするなど重大な障害が発生します。ネットワーク管理者と相談の上IPアドレスを決定してください。**
- **Internetをご利用の場合、接続しているプロバイダやルータメーカーに、プリンタに設定できる IP アドレス等を確認してください。**
- **セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。**

メモ **コンピュータ1台とプリンタ1台を接続するような小規模ネットワークでは、次のように設定してください（「RFC1918」による）。**

コンピュータ

IP アドレス	: 192.168.0.1 〜 254 のいずれか
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイ	: 0.0.0.0（使用しません）
DNS	: 使用しません

プリンタ

IP アドレス	: 192.168.0.1 〜 254 のいずれか （コンピュータと異なるもの）
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイ	: 0.0.0.0
DHCP/BOOTP を使用する	: チェックしない
RARP を使用する	: チェックしない

WindowsNT4.0 を設定します

注 **すでに Windows に IP アドレス等を設定している場合は、「イーサネットボードを設定します」（67 ページ）へ進みます。**

❶ Windows を起動します。

❷ ［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］を選択します。

❸ ［ネットワーク］をダブルクリックし［プロトコル］タブを開きます。

［ネットワークプロトコル］に［TCP/IP プロトコル］が表示されている場合は?

☞ ❻ へ進みます。

❹ ［追加］をクリックします。

❺ ［TCP/IP プロトコル］を選択し、［OK］をクリックします。

❻ ［TCP/IP プロトコル］を選択し、［プロパティ］をクリックします。

❼ IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS サーバをそれぞれ入力し、［OK］をクリックします。

メモ
- **DHCP サーバから IP アドレスを自動取得する場合は、「IP アドレスを自動的に取得する」を選択し、IP アドレスは入力しません。**
- **デフォルトゲートウェイや DNS サーバを使用しない場合は、入力しません。**

❽ ［サービス］タブを開きます。

［Microsoft TCP/IP 印刷］が表示されている場合は?

☞ 「イーサネットボードを設定します」（67 ページ）へ進みます。

❾ ［追加］をクリックします。

❿ ［Microsoft TCP/IP 印刷］を選択し、［OK］をクリックします。

⓫ Windows を再起動します。

イーサネットボードを設定します

Standard Setup（CVO AdminManager）を使用します。

❶ プリンタの電源が ON になっていることを確認します。

❷ イーサネットボード付属の「ネットワークソフトウェア CD-ROM」をセットします。

Setup Utility が自動的に起動します。

自動的に起動しない場合は、CD-ROM の［Windows］フォルダの中の［Autorun.exe］をダブルクリックしてください。

❸ ［Network Device Standard Setup］をクリックします。

❹ ［インストールせずに、直接CD-ROMから起動する］を選択し、［次へ］をクリックします。

❺ 使用許諾契約に同意する場合は［はい］をクリックします。

CVO AdminManager が起動します。

❻ 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うイーサネットボードを選択します。

注

- **イーサネットアドレスは、自己診断テストに表示されています。**
- **初期設定では「DHCP/BOOTP protocol」が「ENABLE」（有効）になっています。ネットワーク上にDHCP/BOOTPサーバがある場合はサーバから取得したIPアドレスが表示されます。**

❼ ［設定］メニューの［Network Deviceの設定］を選択します。

「General」タブ画面が表示されたら？

☞ ⓬へ進みます。

❽ IP アドレスを設定するメッセージがでるので、［はい］をクリックします。

❾ IP アドレスを入力し、[OK] をクリックします。

❿ 設定値を有効にするために [はい] をクリックします。

しばらくすると、一覧にイーサネットボードが表示されます。表示されてこない場合は [ファイル] メニューの [検索] を選択してください。

⓫ 一覧より、イーサネットボードを選択し、[設定] メニューの [Network Device の設定] を選択します。

⓬ [TCP/IP]タブの各項目を設定し、[設定] をクリックします。

❶ 「TCP/IP プロトコルを使用する」にチェックを付けます。

❷ 「DHCP/BOOTP を使用する」「RARP を使用する」のチェックを外します。

❸ 「IP アドレス」を入力します。

❹ 「サブネットマスク」を入力します。

❺ 「デフォルトゲートウェイ」を入力します。

❻ 「FTP/LPD バナーを使用する」のチェックを外します。

- **初期設定では「DHCP/BOOTP を使用する」にチェックが入っています。IP アドレスを設定すると自動的にチェックが外れます。**
- **「DNS サーバ」は SMTP（E-Mail）送信プロトコルを使用するときのみ設定します。**

⓭ 設定に間違いがなければ、[OK] をクリックします。

設定値がイーサネットボードに送信されます。

この時点では、イーサネットボードは送信前の設定値で動作しています。

⓮ 設定値を有効にするために、[はい] をクリックします。

⓯ CVO AdminManager を終了します。

プリンタソフトウェアをセットアップします

❶ 一旦「通常使うローカルプリンタ(LPT1:)」としてプリンタドライバをセットアップします。

プリンタドライバのセットアップ方法は、プリンタのユーザーズマニュアルをご覧ください。

❷ [スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。

❸ 手順❶で追加したプリンタを右ボタンでクリックし、[プロパティ] を選択します。

❹ [ポート] タブの [ポートの追加] をクリックします。

❺ [LPR Port] を選択し、[新しいポート] をクリックします。

注 [LPR Port] 以外は選択しないでください。

❻ [プリンタのIPアドレス] と [プリンタキュー名] を入力します。

注 プリンタキュー名は、必ず [lp] と入力してください。[lp] 以外では正常な印刷ができません。

❼ [OK]、[閉じる] をクリックし、プロパティを閉じます。

セットアップは終了です。

NetBEUI プロトコルを利用します

注 ネットワークの管理者の権限が必要です。

WindowsNT4.0 を設定します

以下の説明は、WindowsNTServer4.0 を例にしています。

❶ ［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］を選択します。

❷ ［ネットワーク］をダブルクリックし、［プロトコル］タブを開きます。

［NetBEUIプロトコル］が表示されている場合は?

☞「プリンタソフトウェアをセットアップします」（71 ページ）へ進みます。

［NetBEUI プロトコル］を追加します。

❸ ［追加］をクリックします。

❹ ［NetBEUIプロトコル］を選択し、［OK］をクリックします。

❺ Windows を再起動します。

プリンタソフトウェアをセットアップします

❶ 一旦「通常使うローカルプリンタ（LPT1：）」としてプリンタドライバをセットアップします。

プリンタドライバのセットアップ方法は、プリンタのユーザーズマニュアルをご覧ください。

❷ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❸ 手順❶で追加したプリンタを右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❹ ［ポート］タブの［ポートの追加］をクリックします。

❺ ［Local Port］を選択し、［新しいポート］をクリックします。

［Local Port］以外は選択しないでください。

❻ ［ポート名の入力］に［\\ETHER******\PRN1］（****** イーサネットアドレスの下６桁）と入力し、［OK］をクリックします。

［ETHER****］は、自己診断テストに表示される「Machine name」です。**

❼ プロパティを閉じます。

セットアップは終了です。

6　NetWareをセットアップします

NetWare のプリントシステム

ノベル社の NetWare5J、NetWare4.1J および NetWare3.12J ネットワーク環境を利用して印刷するために必要な NetWare サーバとイーサネットボードの設定を行います。

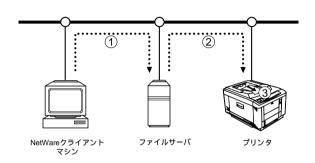
NetWare のネットワークには NDS ネットワークとバインダリネットワークがあります。イーサネットボードのプリントシステムにはプリントサーバモードとリモートプリンタモードがあります。本イーサネットボードで使用できる環境は次のとおりです。

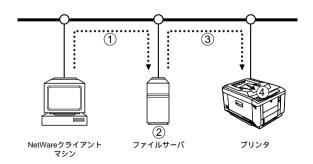
○：使用できます
×：使用できません

		イーサネットボード	
		プリントサーバモード	リモートプリンタモード
NDSネットワーク	NetWare3.12J		
	NetWare4.1J	○	○
	NetWare5J	○	○
バインダリネットワーク	NetWare3.12J	○	○
	NetWare4.1J	○	×
	NetWare5J	○	×

NetWare5J の NDPS 機能には対応していません。NetWare5J 付属の Novell プリントゲートウェイをお使いください。

プリントサーバモード

①ファイルサーバ上のプリントキューにジョブが記憶されると、②プリントサーバとなったプリンタが、直接プリントキューへアクセスして、ジョブを取り出し、③印刷処理を実行します。
プリンタがプリントサーバの役目をするため、他のプリントサーバ（ファイルサーバ上やプリントサーバ専用のワークステーション）を必要としません。

リモートプリンタモード

①ファイルサーバ上のプリントキューにジョブが記憶されると、②プリントサーバ（ファイルサーバ上、またはプリントサーバ専用ワークステーション）がジョブを取り出し、③プリントキューに割り当てられたプリンタにジョブを転送し、④印刷処理を実行します。
通常の NetWare のプリント機能（PSERVER.NLM/EXE）を利用するモードです。既存のプリントサーバが利用できます。

NetWare5J/4.1J（NDS）プリントサーバモード

・コンピュータはNovell Clientがインストールされている必要があります。
・ネットワークの管理者の権限が必要です。

以下のNetWare5J環境を例にしています。

NetWare側

NDSツリー名	：CVOSOFT5
NDSコンテキスト名	：SOFT25.ENG75
ファイルサーバ名	：SOFT22-NW5

イーサネットボード側

プリントサーバ名	：SOFT22-PS
プリントキュー名	：SOFT22-Q

イーサネットボードを設定します

Standard Setup(CVO AdminManager)を使います。

❶ プリンタの電源がONになっていることを確認します。

❷ イーサネットボード付属の「ネットワークソフトウェアCD-ROM」をセットします。

Setup Utilityが自動的に起動します。

注 **自動的に起動しない場合は、CD-ROMの［Windows］フォルダの中の［Autorun.exe］をダブルクリックしてください。**

❸ ［Network Device Standard Setup］をクリックします。

❹ ［インストールせずに、直接CD-ROMから起動する］を選択し、［次へ］をクリックします。

❺ 使用許諾契約に同意する場合は［はい］をクリックします。

CVO AdminManagerが起動します。

❻ 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うイーサネットボードを選択します。

イーサネットアドレスは自己診断テストに表示されています。

❼ ［設定］メニューの［Network Deviceの設定］を選択します。

- **NetWare ファイルサーバが多数あると、一覧に表示されないことがあります。このような場合は検索するネットワークを指定してください。**
- **［オプション］メニューの［環境設定］を選択し、［NetWare］タブをクリックします。**
- **［検索するネットワークを指定する］を選択し、イーサネットボードが存在する NetWare ネットワークアドレスを入力し、［登録］をクリックします。**
- **［ファイル］メニューの［検索］をクリックします。**

❽ ［NetWare］タブをクリックし、各項目を入力し、［設定］をクリックします。

❶「NetWare プロトコルを使用する」にチェックを付けます。

❷「プリントサーバ名」（ここでは「SOFT22-PS」）を入力します。

❸「プリントサーバ」にチェックを付けます。

「フレームタイプ」、「プリンタ名」を設定する必要はありません。

❾ 設定に間違いがなければ、［OK］をクリックします。

設定値がイーサネットボードに送信されます。

この時点では、イーサネットボードは送信前の設定値で動作しています。

❿ 設定値を有効にするため、［はい］をクリックします。

NetWare ファイルサーバを設定します

Standard Setup（CVO AdminManager）が起動した状態から説明します。

❶ 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うイーサネットボードを選択し、［設定］メニューの［NetWareのキュー作成］を選択します。

❷ ［次へ］をクリックします。

❸ ［NDS モード］を選択し、［次へ］をクリックします。

❹ プリントサーバを作成する［コンテキスト］（ここではNDSツリー「CVOSOFT5」、NDSコンテキスト「SOFT25.ENG75」）を選択し、［次へ］をクリックします。

❺ ［プリントサーバモード］を選択し、［次へ］をクリックします。

❻ ［プリントキュー名］（ここでは「SOFT22-Q」）を入力し、［次へ］をクリックします。キューを新規に作成する場合は、作成する場所を指定します。

❼ 設定に間違いがなければ、［実行］をクリックします。

メモ **プリンタポート名は、自動的に「プリントサーバ名」+「-prn1」になります。**

❽ ［完了］をクリックします。

❾ プリンタの電源を OFF/ON します。

プリンタソフトウェアをセットアップします

❶ 一旦「通常使うローカルプリンタ（LPT1：）」としてプリンタドライバをセットアップします。

プリンタドライバのセットアップ方法は、プリンタのユーザーズマニュアルをご覧ください。

❷ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❸ 手順❶で追加したプリンタを右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❹ ［詳細］タブの［ポートの追加］をクリックします。

❺ ［ネットワーク］を選択し、［参照］をクリックします。

❻ 作成したプリントキュー名（ここでは「SOFT22-Q」）を選択し、［OK］をクリックします。

❼ ［プリンタへのネットワークパス］が指定されたことを確認し、[OK]をクリックします。

❽ プロパティを閉じます。

セットアップは終了です。

NetWare5J/4.1J（NDS）リモートプリンタモード

- **コンピュータに Novell Client がインストールされている必要があります。**
- **ネットワークの管理者の権限が必要です。**

以下の NetWare5J 環境を例にしています。

NetWare 側

NDS ツリー名	：CVOSOFT5
NDS コンテキスト名	：SOFT25.ENG75
ファイルサーバ名	：SOFT22-NW5
プリントサーバ名	：SOFT22-PS
プリントキュー名	：SOFT22-Q

イーサネットボードを設定します

Standard Setup(CVO AdminManager)を使います。

❶ プリンタの電源が ON になっていることを確認します。

❷ イーサネットボード付属の「ネットワークソフトウェアCD-ROM」をセットします。

Setup Utility が自動的に起動します。

注 **自動的に起動しない場合は、CD-ROM の［Windows］フォルダの中の［Autorun.exe］をダブルクリックしてください。**

❸［Network Device Standard Setup］をクリックします。

❹［インストールせずに、直接CD-ROMから起動する］を選択し、［次へ］をクリックします。

❺ 使用許諾契約に同意する場合は［はい］をクリックします。

CVO AdminManager が起動します。

❻ 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うイーサネットボードを選択します。

イーサネットアドレスは、自己診断テストに表示されています。

❼ [設定] メニューの [Network Deviceの設定] を選択します。

- **NetWare ファイルサーバが多数あると、一覧に表示されないことがあります。このような場合は検索するネットワークを指定してください。**
- **[オプション] メニューの [環境設定] を選択し、[NetWare] タブをクリックします。**
- **[検索するネットワークを指定する] を選択し、イーサネットボードが存在する NetWare ネットワークアドレスを入力し、[登録] をクリックします。**
- **[ファイル] メニューの [検索] をクリックします。**

❽ [NetWare] タブをクリックし、各項目を入力し、[設定] をクリックします。

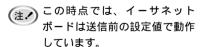
❶ 「NetWare プロトコルを使用する」にチェックを付けます。

❷ プリントサーバ名（任意の名前、ここでは「SOFT22-PS」）を入力します。

❸ 「リモートプリンタ」にチェックを付けます。

- **「プリントサーバ名」はリモートプリンタモードでは使用しません。**
- **「フレームタイプ」、「プリンタ名」を設定する必要はありません。**

❾ 設定に間違いがなければ、[OK] をク

設定値がイーサネットボードに送信されます。

この時点では、イーサネットボードは送信前の設定値で動作しています。

リックします。

❿ 設定値を有効にするため、[はい] をクリックします。

NetWare ファイルサーバを設定します

Standard Setup（CVO AdminManager）が起動した状態から説明します。

❶ 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うイーサネットボードを選択し、[設定] メニューの [NetWareのキュー作成] を選択します。

❷ [次へ] をクリックします。

❸ [NDS モード] を選択し、[次へ] をクリックします。

❹ プリントサーバを作成する [コンテキスト]（ここではNDSツリー「CVOSOFT5」、NDSコンテキスト「SOFT25.ENG75」）を選択し、[次へ] をクリックします。

❺ [リモートプリンタモード] を選択し、[次へ] をクリックします。

❻ [プリントサーバ名]（ここでは「SOFT22-PS」）を入力し、[次へ] をクリックします。

既存のプリントサーバを選択することも可能です。

❼ [プリントキュー名]（ここでは「SOFT22-Q」）を入力し、[次へ] をクリックします。

既存のキューを選択することも可能です。

❽ 設定に間違いがなければ、[実行] をクリックします。

メモ **プリンタポート名は、自動的に「プリントサーバ名」+「-prn1」になります。**

❾ [完了] をクリックします。

❿ NetWareのファイルサーバのコンソールからプリントサーバを起動します。

⓫ プリンタの電源を OFF/ON します。

プリンタソフトウェアをセットアップします

❶ 一旦「通常使うローカルプリンタ（LPT1：）」としてプリンタドライバをセットアップします。

プリンタドライバのセットアップ方法は、プリンタのユーザーズマニュアルをご覧ください。

❷ [スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。

❸ 手順❶で追加したプリンタを右ボタンでクリックし、[プロパティ] を選択します。

❹ [詳細] タブの [ポートの追加] をクリックします。

❺ [ネットワーク] を選択し、[参照] をクリックします。

❻ 作成したプリントキュー名（ここでは「SOFT22-Q」）を選択し、[OK] をクリックします。

❼ [プリンタへのネットワークパス] が指定されたことを確認し、[OK]をクリックします。

❽ プロパティを閉じます。

セットアップは終了です。

NetWare5J/4.1J（ﾊﾞｲﾝﾀﾞﾘ）プリントサーバモード

- **バインダリサービスを利用するためには、ファイルサーバにバインダリコンテキストの指定が行われている必要があります。あらかじめ、サーバコンソールより次の設定を行ってください。**

  バインダリコンテキスト「OU=SOFT25.O=ENG75」の場合
  set Bindery Context = OU=SOFT25.O=ENG75

- **コンピュータにはNovell Clientがインストールされている必要があります。**
- **ネットワークの管理者の権限が必要です。**

以下のNetWare5J環境を例にしています。

NetWare側
　ファイルサーバ名　　　　：SOFT22-NW5

イーサネットボード側
　プリントサーバ名　　　　：SOFT22-PS
　プリントキュー名　　　　：SOFT22-Q

イーサネットボードを設定します

Standard Setup(CVOAdminManager)を使います。

❶ プリンタの電源がONになっていることを確認します。

❷ イーサネットボード付属の「ネットワークソフトウェアCD-ROM」をセットします。

Setup Utilityが自動的に起動します。

自動的に起動しない場合は、CD-ROMの［Windows］フォルダの中の［Autorun.exe］をダブルクリックしてください。

❸ ［Network Device Standard Setup］をクリックします。

❹ ［インストールせずに、直接CD-ROMから起動する］を選択し、［次へ］をクリックします。

❺ 使用許諾契約に同意する場合は［はい］をクリックします。

CVO AdminManagerが起動します。

❻ 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うイーサネットボードを選択します。

注 **イーサネットアドレスは、自己診断テストに表示されています。**

❼ [設定] メニューの [Network Deviceの設定] を選択します。

注
- **NetWare ファイルサーバが多数あると、一覧に表示されないことがあります。このような場合は検索するネットワークを指定してください。**
- **[オプション] メニューの [環境設定] を選択し、[NetWare] タブをクリックします。**
- **[検索するネットワークを指定する] を選択し、イーサネットボードが存在する NetWare ネットワークアドレスを入力し、[登録] をクリックします。**
- **[ファイル] メニューの [検索] をクリックします。**

❽ [NetWare] タブをクリックし、各項目を入力し、[設定] をクリックします。

❶「NetWare プロトコルを使用する」にチェックを付けます。

❷「プリントサーバ名」(ここでは「SOFT22-PS」)を入力します。

❸「プリントサーバ」にチェックを付けます。

注 **「フレームタイプ」、「プリンタ名」を設定する必要はありません。**

❾ 設定に間違いがなければ、[OK] をクリックします。

設定値がイーサネットボードに送信されます。

注 **この時点では、イーサネットボードは送信前の設定値で動作しています。**

❿ 設定値を有効にするため、[はい] をクリックします。

NetWare ファイルサーバを設定します

Standard Setup（CVO AdminManager）が起動した状態から説明します。

❶ 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うイーサネットボードを選択し、[設定] メニューの [NetWareのキュー作成] を選択します。

❷ [次へ] をクリックします。

❸ [バインダリモード] を選択し、[次へ] をクリックします。

❹ プリントサーバを作成する [ファイルサーバ]（ここでは「SOFT22-NW5」）を選択し、[次へ] をクリックします。

❺ [プリントサーバモード] を選択し、[次へ] をクリックします。

注 **バインダリネットワークでは、リモートプリンタモードを選択できません。**

❻ [プリントキュー名]（ここでは「SOFT22-Q」）を入力し、[次へ] をクリックします。既存のキューを選択することも可能です。

❼ 設定に間違いがなければ、[実行] をクリックします。

メモ **プリンタポート名は、自動的に「プリントサーバ名」+「-prn1」になります。**

❽ [完了] をクリックします。

❾ プリンタの電源を OFF/ON します。

プリンタソフトウェアをセットアップします

❶ 一旦「通常使うローカルプリンタ（LPT1：)」としてプリンタドライバをセットアップします。

プリンタドライバのセットアップ方法は、プリンタのユーザーズマニュアルをご覧ください。

❷ [スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。

❸ 手順❶で追加したプリンタを右ボタンでクリックし、[プロパティ] を選択します。

❹ [詳細] タブの [ポートの追加] をクリックします。

❺ [ネットワーク] を選択し、[参照] をクリックします。

❻ 作成したプリントキュー名（ここでは「SOFT22-Q」）を選択し、[OK] をクリックします。

❼ [プリンタへのネットワークパス] が指定されたことを確認し、[OK]をクリックします。

❽ プロパティを閉じます。

セットアップは終了です。

NetWare3.12J

- **コンピュータに Novell Client がインストールされている必要があります。**
- **ネットワークの管理者の権限が必要です。**
- **NetWare サーバへログインするためのネットワークドライブ名は F：を例にしています。**

以下の NetWare 環境を例にしています。

ファイルサーバ	：SOFT22-NW312
プリントサーバ	：SOFT22-PS
プリントキュー	：SOFT22-Q
プリンタ名	：SOFT22-PRN

NetWare ファイルサーバを設定します

PCONSOLEを起動します

❶ クライアントマシンからスーパーバイザで、ファイルサーバにログインします。

F:\>LOGIN SOFT22-NW312/supervisor

❷ PCONSOLE を起動します。

F:\>pconsole

［利用可能な項目］が表示されます。

```
利用可能な項目
 ﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞ の変更
 ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ情報
 ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ 情報
```

プリントキューを作成します

❸［プリントキュー情報］を選択し、Enter キーを押します。

```
利用可能な項目
 ﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞ の変更
 ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ情報
 ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ 情報
```

❹ Ins キーを押して、新しく作成するプリントキュー名（ここでは「SOFT22-Q」）を入力し、Enter キーを押します。

```
新ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ名：SOFT22-Q
```

プリントキューが作成されます。

プリントサーバを作成します

既存のプリントサーバを利用する場合は、以下の設定を行う必要はありません。「プリントサーバが管理するプリンタを作成します」へ進みます。

❺ ［プリントサーバ情報］を選択し、Enter キーを押します。

利用可能な項目
ﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞの変更
ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ情報
ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ情報

❻ Ins キーを押して、新しく作成するプリントサーバ名（ここでは「SOFT22-PS」）を入力し、Enter キーを押します。

新ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ名：SOFT22-PS

プリントサーバが登録されます。

プリントサーバが管理するプリンタを作成します

❼ ［プリントサーバ情報］を選択し、Enter キーを押します。

利用可能な項目
ﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞの変更
ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ情報
ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ情報

❽ 作成したプリントサーバ（ここでは「SOFT22-PS」）を選択し、Enter キーを押します。

❾ ［プリントサーバ構成］を選択し、Enter キーを押します。

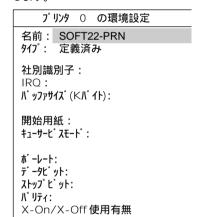
❿ ［プリンタの構成］を選択し、Enter キーを押します。

ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ構成ﾒﾆｭｰ
使用されているﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞ
ﾌﾟﾘﾝﾀ通知ﾘｽﾄ
ﾌﾟﾘﾝﾀでｻｰﾋﾞｽされているｷｭｰ
ﾌﾟﾘﾝﾀの構成

⓫ 他のプリンタがインストールされていないプリンタ番号（ここでは［インストールされていません　0］）を選択し、Enter キーを押します。

構成完了ﾌﾟﾘﾝﾀ	
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません	**0**
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません	1
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません	2
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません	3
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません	4
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません	5

⓬ ［名前］の欄に、リモートプリンタの名前（ここでは「SOFT22-PRN」）を入力します。

ﾌﾟﾘﾝﾀ　0　の環境設定
名前：　SOFT22-PRN
ﾀｲﾌﾟ：　定義済み
社別識別子：
IRQ：
ﾊﾞｯﾌｧｻｲｽﾞ(Kﾊﾞｲﾄ)：
開始用紙：
ｷｭｰｻｰﾋﾞｽﾓｰﾄﾞ：
ﾎﾞｰﾚｰﾄ：
ﾃﾞｰﾀﾋﾞｯﾄ：
ｽﾄｯﾌﾟﾋﾞｯﾄ：
ﾊﾟﾘﾃｨ：
X-On/X-Off 使用有無

⓭ ［タイプ］を選択し、Enter キーを押すと、［プリンタタイプ］が表示されます。

⓮ ［リモートパラレル，LPT1］を選択し、Enter キーを押します。

ﾌﾟﾘﾝﾀﾀｲﾌﾟ
ﾛｰｶﾙﾊﾟﾗﾚﾙ，LPT1
ﾛｰｶﾙﾊﾟﾗﾚﾙ，LPT2
ﾛｰｶﾙﾊﾟﾗﾚﾙ，LPT3
ﾛｰｶﾙｼﾘｱﾙ，COM1
ﾛｰｶﾙｼﾘｱﾙ，COM2
ﾛｰｶﾙｼﾘｱﾙ，COM3
ﾛｰｶﾙｼﾘｱﾙ，COM4
ﾘﾓｰﾄﾊﾟﾗﾚﾙ，LPT1
ﾘﾓｰﾄﾊﾟﾗﾚﾙ，LPT2
ﾘﾓｰﾄﾊﾟﾗﾚﾙ，LPT3

⓯ Esc キーを押し、［変更を保存しますか？］と表示されたら、［Yes］を選択し、Enter キーを押します。

プリンタが作成されます。

構成完了ﾌﾟﾘﾝﾀ	
SOFT22-PRN	**0**
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません	1
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません	2
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません	3
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません	4
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません	5

プリンタにプリントキューを割り当てます

⑯ ［プリンタでサービスされているキュー］を選択し、Enter キーを押します。

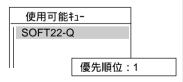
ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ構成ﾒﾆｭｰ
使用されているﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞ
ﾌﾟﾘﾝﾀ通知ﾘｽﾄ
ﾌﾟﾘﾝﾀでｻｰﾋﾞｽされているｷｭｰ
ﾌﾟﾘﾝﾀの構成

⑰ ［定義済みのプリンタ］から、プリントキューを割り当てるプリンタ（ここでは「SOFT22-PRN」）を選択し、Enter キーを押します。

定義済みのﾌﾟﾘﾝﾀ
SOFT22-PRN **0**

⑱ Ins キーを押して、［使用可能キュー］からプリンタに割り当てるプリントキュー（ここでは「SOFT22-Q」）を選択し、Enter キーを押します。

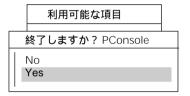
使用可能ｷｭｰ
SOFT22-Q

⑲ プリントキューの優先順位（ここでは「1」）を入力し、Enterキーを押します。

プリントキューと優先順位が割当てられます。

ﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞ	ｷｭｰ	優先順位
SE22	SOFT22-Q	1

⑳ 複数のプリントキューを割り当てる場合は、手順⑱と⑲を繰り返します。

Pconsoleを終了します

㉑ ［終了しますか? PConsole］が表示されるまで Esc キーを押し、［Yes］を選択します。

イーサネットボードを設定します

プリントサーバモードの場合

❶ イーサネットボードを設定します。

NetWare5J/4.1J（バインダリ）プリントサーバモードの「イーサネットボードを設定します」（82ページ）の手順に従ってください。

リモートプリンタモードの場合

❶ ファイルサーバコンソールでプリントサーバ（ここでは「SOFT22-PS」）を起動します。

：LOAD PSERVER SOFT22-PS

注 **もしプリントサーバが起動している場合は再起動します。**

：UNLOAD PSERVER

：LOAD PSERVER SOFT22-PS

❷ イーサネットボードを設定します。

NetWare5J/4.1J（NDS）リモートプリンタモードの「イーサネットボードを設定します」（79ページ）の手順に従ってください。

プリンタソフトウェアをセットアップします

プリントサーバモードの場合

❶ プリンタソフトウェアをセットアップします

NetWare5J/4.1J（バインダリ）プリントサーバモードの「プリンタソフトウェアをセットアップします」（84ページ）の手順に従ってください。

リモートプリンタモードの場合

❶ プリンタソフトウェアをセットアップします

NetWare5J/4.1J（NDS）リモートプリンタモードの「プリンタソフトウェアをセットアップします」（81ページ）の手順に従ってください。

7 イーサネットボードを管理します

設定項目の一覧

イーサネットボードに設定できる項目を説明します。
現在のイーサネットボードに設定されている値は、自己診断テストで確認できます。
設定値を変更するには、telnet, Webブラウザ, AdminManager(Windows), を使用します。

注 **プリンタによって設定できる項目が異なります。**

TCP/IP

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
telnet	Webブラウザ	CVO AdminManager		
TCP/IP protocol	TCP/IP	TCP/IPプロトコルを使用する	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	イーサネットボードでTCP/IPプロトコルを使用するかどうか設定します。
IP address	IP Address	IPアドレス	0.0.0.0	イーサネットボードのIPアドレスを設定します。設定値は、「***.***.***.***」形式で入力します。RARPやDHCP/BOOTPを利用する場合は、動的設定されますので、IPアドレスを設定する必要はありません。
Subnet mask	Subnet Mask	サブネットマスク	0.0.0.0	イーサネットボードのサブネットマスクを設定します。設定値は、「***.***. ***.***」形式で入力します。ルータやゲートウェイを使用しない場合は初期値で使用します。
Gateway address	Default Gateway	デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0	イーサネットボードのゲートウェイアドレスを設定します。設定値は、「***.***.***.***」形式で入力します。ルータやゲートウェイを使用しない場合は初期値で使用します。
RARP protocol	RARP	RARPを使用する	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	起動時に、RARPサーバを利用して動的にIPアドレスを取得するかどうか設定します。
DHCP/BOOTP protocol	DHCP/BOOTP	DHCP/BOOTPを使用する	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	起動時に、DHCP/BOOTPサーバを利用して動的にIPアドレスを取得するかどうか設定します。直接IPアドレスを設定した場合は自動的に「DISABLE」に変わります。
DNS server(Pri.)	DNS Server Address (Pri.)	DNSサーバプライマリサーバ	0.0.0.0	プライマリDNSサーバのIPアドレスを設定します。SMTP(E-Mail)プロトコルを使用するときに設定してください。「SMTP Server Name」をIPアドレスで設定する場合は、設定する必要はありません。
DNS server(Sec.)	DNS Server Address(Sec.)	DNSサーバセカンダリサーバ	0.0.0.0	セカンダリDNSサーバのIPアドレスを設定します。SMTP(E-Mail)プロトコルを使用するときに設定してください。「SMTP Server Name」をIPアドレスで設定する場合は、設定する必要はありません。
root password	*1	rootパスワード	なし	rootユーザのパスワードを設定します。7桁の英数字です。

*1）Web ブラウザのパスワードの初期設定は「イーサネットアドレスの下 6 桁」です。

SNMP

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
telnet	Webブラウザ	CVO AdminManager		
Authentic community	Authentic Community	認証コミュニティ名	public	認証コミュニティ名を入力します。15文字以内の英数字です。設定内容は「********」で表示されます。
Trap community	Trap Community	Trapコミュニティ名	public	トラップコミュニティ名を入力します。15文字以内の英数字です。
Trap address	TRAP IP Address	Trap通知先アドレス	0.0.0.0	トラップ通知アドレスを設定します。IPアドレスが「0.0.0.0」の場合はTRAPを発行しません。
SysContact	SysContact	SysContact	なし	MIB-IIのSysContact(管理者名)を設定します。255文字以内の文字列です。
SysName	SysName	SysName	なし	MIB-IIのSysName(製品名)を設定します。255文字以内の文字列です。
SysLocation	SysLocation	SysLocation	なし	MIB-IIのSysLocation(設置場所)を設定します。255文字以内の文字列です。
DefaultTTL		DefaultTTL	0秒 ｜ 255秒	IPパケット生存値(TTL値)を設定します。通常は初期設定で使用します。
EnableAuthen Trap	Enable Authen Trap	Enable Authen Trap	1：ENABLE (使用する) 2：DISABLE (使用しない)	認証エラートラップを許可するかどうか入力します。

NetWare

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
telnet	Webブラウザ	CVO AdminManager		
NetWare protocol	NetWare	NetWareプロトコルを使用する	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	NetWare(IPX/SPXプロトコル)を使用するかどうか設定します。
Packet type	Frame Type	フレームタイプ	AUTO ETHER-II (ETHERNET-II) 802.2(IEEE802.2) 802.3(IEEE802.3) SNAP(SNAP)	NetWareで使用するパケットの優先フレームタイプを設定します。初期設定では自動でパケットタイプを切り替えます。接続できない場合は、サーバと同じフレームタイプを指定します。
NetWare mode	Netware Mode	動作モード	RPRINTER (リモートプリンタ) PSERVER	イーサネットボードの動作モードをプリントサーバモードかリモートプリンタモードにするか設定します。

プリントサーバ

網かけ部は初期値です。

項目			設定値	機能説明
telnet	Webブラウザ	CVO AdminManager		
FSERVER name1-8	File Server Names	ファイルサーバ	なし	ファイルサーバの名前を設定します。最大8台のファイルサーバを指定できます。47文字以内の英数字です。
Machine name	NetWare Print Server Name	プリントサーバ名	「ML」+「イーサネットアドレス下6桁」	プリントサーバ名を設定します。ファイルサーバの「プリントサーバ名」と同じにしてください。31文字以内の英数字です。 リモートプリンタモードでは利用しません。
Password	Password	ログインパスワード	なし	ファイルサーバにログインするためのパスワードを設定します。ファイルサーバと同じにしてください。31文字以内の英数字です。
Job polling interval	Job Polling Rate	ジョブポーリング間隔	2秒 ｜ 4秒 ｜ 255秒	Jobの状態を調べる間隔を設定します。 通常は初期設定で使用します。設定値が小さすぎるとネットワークに負荷をかけ、大きすぎると印刷のレスポンスが悪くなります。
Bindery mode	Bindery Mode	バインダリ設定	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	バインダリモードを使用するかどうか設定します。NW5.0/4.1Jバインダリネットワークおよび NW3.12Jで接続する場合は「ENABLE」にします。NW5.0/4.1JのNDSネットワークのみで接続する場合は「DISABLE」にします。
NDS tree	Tree Name	NDSツリー名	なし	NDSのツリー名を設定します。プリントサーバを登録したファイルサーバが属するツリー名を指定してください。31文字以内の英数字です。
NDS context	Context	NDSコンテキスト	なし	NDSのコンテキスト名を設定します。プリントサーバを作成したコンテキスト名を指定してください。77文字以内の英数

リモートプリンタ

網かけ部は初期値です。

項目			設定値	機能説明
telnet	Webブラウザ	CVO AdminManager		
PSERVER name1-8	NetWare Print Server Names	プリントサーバ	なし	接続するプリントサーバ名を設定します。最大8台のプリントサーバを指定できます。47文字以内の英数字です。
Job timeout	Job Timeout	ジョブタイムアウト	4秒 ｜ 10秒 ｜ 255秒	最後の印刷ジョブパケットを受け取ってからイーサネットボードのポートを解放するまでの時間を設定します。 通常は初期設定で使用します。設定値が小さすぎると、パケットが遅れた場合などに印刷が途切れたりします。大きすぎると、他のプロトコルのジョブに影響を

NetBEUI

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
telnet	Webブラウザ	CVO AdminManager		
NetBEUI protocol	NetBEUI	NetBEUIプロトコルを使用する	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	NetBEUIプロトコルを使用するかどうか設定します。
Computer name	Computer Name	コンピュータ名	「ETHER」+「イーサネットアドレス下6桁」	コンピュータ名を設定します。15文字以内の英数字です。
Workgroup name	Workgroup Name	ワークグループ	PrintServer	ワークグループ名を設定します。15文字以内の英数字です。
Comment	Comment	コメント	EthernetBoard FastEther7300e	コメントを設定します。 48文字以内の英数字です。

- **本イーサネットボードの Master Browser 機能は、Workgroup 名が「Print Server」の場合にのみ起動します。Master Browser 機能は同一 Workgroup 内に存在するマシンの情報を管理し、他の Workgroup からの一覧要求に応答する機能です。**
- **本イーサネットボードの Master Browser 機能は、本イーサネットボード以外の管理はできません。他の Workgroup に「PrintServer」の名前をつけると、本イーサネットボードがネットワークで見えなくなることがあります。**
- **本イーサネットボードの Master Browser 機能で管理できるイーサネットボードは最大 8 台です。**
- **NetBEUI プロトコルでは、他のユーザ（他のプロトコルを含む）からのジョブの印刷中はエラーメッセージが表示され、印刷できません。**

printer port

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
telnet	Webブラウザ	CVO AdminManager		
NetWare port name	Netware Printer Name *4	プリンタ名 *2	「ML」+「イーサネットアドレス下6桁」+「-pm1」	プリンタ名を設定します。サーバの「プリンタ名」と同じにしてください。31文字以内の英数字です。
lpr/ftp banner		FTP/LPDバナーを使用する *3	YES (使用する) NO (使用しない)	LPRやFTPで印字する場合にバナーページを使用するかどうか設定します。TCP/IPプロトコルのみ有効です。

*2）Web ブラウザでは「NetWare Settings」項目に、CVO AdminManager では「NetWare タブ」に表示されます。

*3）CVO AdminManager では「TCP/IP タブ」に、Setup Utility では「TCP/IP」に表示されます。

printer trap

網かけ部は初期値です。

項目			設定値	機能説明
telnet	Webブラウザ	CVO AdminManager		
Prn-Trap community	Printer Trap Community Name	プリンタTrapコミュニティ名	public	プリンタTRAPのコミュニティ名を設定します。31文字以内の英数字です。
TCP #1-5 Trap enable	Trap Enable	Printer Trapを有効にする	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	TCP #1-5でプリンタTrapを使用するかどうか設定します。
On-line trap	Online	オンライン	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	オンラインTrapを使用するかどうか設定します。
Off-line trap	Offline	オフライン	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	オフラインTrapを使用するかどうか設定します。
Paper Out trap	Paper Out	用紙なし	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	ペーパーアウトTrapを使用するかどうか設定します。
Paper Jam trap	Paper Jam	用紙ジャム	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	ペーパージャムTrapを使用するかどうか設定します。
Cover Open trap	Cover Open	カバーオープン	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	カバーオープンTrapを使用するかどうか設定します。
Printer Error trap	Printer Error	プリンタエラー	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	プリンタエラーTrapを使用するかどうか設定します。
TCP #1-5 Trap address	Address 1-5	TCP #1-5	0.0.0.0	TCP/IPの場合のTrap送信先アドレスを設定します。設定値は10進数「***.***.***.***」形式で入力します。IPアドレスが0.0.0.0の場合は、Trapを送信しません。アドレスは5か所まで指定できます。
IPX Trap address/net	IPX	IPX	00000000:000000000000	IPXの場合のTrap送信先アドレスを設定します。設定値は、ネットワークアドレス(8桁)+ノードアドレス(12桁)で入力します。「00000000:000000000000」の場合はトラップを発行しません。アドレスは1か所のみ指定できます。

SMTP（E-Mail）*4

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
telnet	Webブラウザ	CVO AdminManager		
SMTP Transmit	SMTP Transmit Protocol	SMTP送信プロトコルを使用する	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	SMTP(E-Mail)送信プロトコルを使用するかどうか設定します。
SMTP Receive	SMTP Receive	SMTP受信プロトコルを使用する	ENABLE DISABLE	SMTP(E-Mail)受信プロトコルを使用するかどうか設定します。
SMTP server name	SMTP Server	SMTPサーバアドレス/サーバ名	なし	SMTPサーバ名を設定します。ドメイン名もしくはIPアドレスを指定してください。ドメイン名を指定する場合は、DNS(Pri)(sec)の設定が必要です。
SMTP port number	SMTP Port Number	SMTPポート番号	25	SMTPのポート番号を設定します。通常は初期設定でご使用ください。
E-Mail address	Printer Email address	E-Mailアドレス	なし	プリンタのE-Mailアドレスを設定します。通常はネットワーク管理者のメールアドレスを指定してください。
Reply-To address	Reply-To-Address	返信用アドレス	なし	返信用のアドレスを設定します。通常はネットワーク管理者のメールアドレスを指定してください。
Event to address1-5	Email Address 1-5	送信先アドレス1-5	なし	送信先のアドレスを設定します。 アドレスは5ヶ所まで指定できます。
Signature line1-4	Signature line 1-4	署名	なし	送信メールの文末に付加するコメントを設定します。4行設定できます。1行は64文字まで入力でき、それを越える場合は自動的に改行します。
Re-send Interval	Re-send Interval	チェック間隔	DISABLE 30min 60min 24hour	プリンタの状況をチェックする間隔を設定します。この間隔内に、プリンタイベントが発生した場合、その記録をまとめて送信します。
Off Line	Off Line	オフライン	ENABLE DISABLE	プリンタがオフラインになったときに、メールを送信するかどうか設定します。
Consumable Message	Consumable Message	メンテナンス	ENABLE DISABLE	プリンタの消耗品（ドラムカートリッジ、ベルト、定着器）が寿命になったときに、メールを送信するかどうか設定します。
Toner Low/Out	Toner Low/Out	トナー交換	ENABLE DISABLE	プリンタのトナーが少なくなった場合やトナーエラー時に、メールを送信するかどうか設定します。
Paper Low/Out	Paper Low/Out	用紙補充	ENABLE DISABLE	プリンタに用紙がなくなったときや少なくなったときに、メールを送信するかどうか設定します。
Paper Jam	Paper Jam	用紙ジャム	ENABLE DISABLE	プリンタに用紙がつまったときに、メールを送信するかどうか設定します。
Cover Open	Cover Open	カバーオープン	ENABLE DISABLE	プリンタのカバーが開いているときに、メールを送信するかどうか設定します。
Stacker Error	Stacker Error	スタッカエラー	ENABLE DISABLE	プリンタのスタッカに用紙がいっぱいになったときに、メールを送信するかどうか設定します。

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
telnet	Webブラウザ	CVO AdminManager		
Mass Storage Error	Mass Storage Error	ストレージエラー	ENABLE DISABLE	プリンタのハードディスクがディスクフルエラーになったときに、メールを送信するかどうか設定します。
Recoverable Error	Recoverable Error	復旧可能エラー	ENABLE DISABLE	プリンタがエラーになったとき（復旧可能）に、メールを送信するかどうか設定します。
Service Call Req.	Service Call Required	サービスコール要求	ENABLE DISABLE	プリンタにエラー（復旧不可能）が発生したときに、メールを送信するかどうか設定します。
Finisher Error	Finisher Error	フィニッシャーエラー	ENABLE DISABLE	フィニッシャーのエラーが発生したときにメールを送信するかどうか設定します。 **(注)フィニッシャーが装着されていないときは選択できません。**

*4）　Webブラウザでは「Email設定」項目に、CVO Admin Managerでは「SMTP」タブに表示されます。

POP(E-Mail) *5

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
telnet	Webブラウザ	CVO AdminManager		
POP3 Protocol	POP Protocol	POP3プロトコルを使用する	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	POP3(E-Mail)プロトコルを使用するかどうか設定します。
POP3 server	POP Server name	POP3サーバアドレス/サーバ名	なし	POP3サーバ名を設定します。ドメイン名もしくはIPアドレスを指定してください。ドメイン名を指定する場合は、DNS(Pri)(Sec)の設定が必要です。
POP port number	POP Port Number	POP3ポート番号	110	POP3ポート番号を設定します。通常は初期設定でご使用ください。
POP3 server UserID	POP Account	POP3サーバユーザID	なし	POP3サーバに接続するためのユーザIDを設定します。16文字以内の英数字です。
POP3 server Password	POP Password	POP3サーバパスワード	なし	POP3サーバに接続するためのパスワードを設定します。16文字以内の英数字です。
Use APOP	APOP Support	APOPを使用する	YES No	APOPを使用するかどうかを設定します。お使いのPOP3サーバがAPOPに対応している場合にのみ、［YES］にしてください。
Retrieve every (min.)	POP Receive Interval	POP3受信間隔	DISABLE(OFF) 1min 5min 10min 30min 60min	メール受信を確認する間隔を設定します。［DISABLE］のときはメール受信を行いません。

*6）　Webブラウザでは「Email設定」項目に、CVO Admin Managerでは「POP」タブに表示されます。

Standard Setup（CVO AdminManager）を使います

イーサネットボードの設定やプリンタのステータスの確認、NetWare キューの作成 / 削除ができます。

動作環境

WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0 日本語版
TCP/IP か IPX/SPX で動作しているコンピュータ

注

- **コンピュータはイーサネットボードと同一セグメント上に存在している必要があります。**
- **NetWare の設定をするときは、コンピュータに Novel Client がインストールされていて、ネットワークの管理者の権限が必要です。**

起動方法

❶ プリンタの電源が ON になっていることを確認します。

❷ イーサネットボード付属の「ネットワークソフトウェア CD-ROM」をセットします。

Setup Utility が自動的に起動します。

注 **自動的に起動しない場合は、CD-ROM の［Windows］フォルダの中の［Autorun.exe］をダブルクリックしてください。**

❸ ［Network Device Standard Setup］をクリックします。

❹ ［インストールせずに、直接CD-ROMから起動する］を選択し、［次へ］をクリックします。

❺ 使用許諾契約に同意する場合は［はい］をクリックします。

CVO AdminManager が起動します。

Network Device の設定

イーサネットボードの設定を行うことができます。
各項目の詳細については、「設定項目の一覧」（92 ページ）をご覧ください。

❶ 一覧より、イーサネットアドレスを参照して設定を行うイーサネットボードを選択します。

- **イーサネットアドレスは自己診断テストに表示されています。**
- **初期設定では「DHCP/BOOTP protocol」が「ENABLE」になっています。ネットワーク上にDHCP/BOOTP サーバがある場合はサーバから取得したIP アドレスが表示されます。**

❷ ［設定］メニューの［Network Deviceの設定］を選択します。

❸ 必要な項目を入力し、［設定］をクリックします。

❹ 設定に間違いがなければ、［OK］をクリックします。

ただしこの時点では、イーサネットボードは送信前の設定値で動作しています。

❺ 新しい設定値を有効にするため、［はい］をクリックします。

ここで［いいえ］を選択した場合、プリンタの電源をOFF/ONすれば設定値が反映されます。

❻ CVO AdminManager を終了します。

Generalタブ

TCP/IPタブ

NetWareタブ

NetBEUIタブ

SNMPタブ

POPタブ

SMTPタブ

HTTPによる設定

Web ブラウザを使用して、イーサネットボードやプリンタのステータスを表示することができます。［設定］メニューの［HTTP による設定］を選択します。

TELNETによる設定

telnet を使用して、イーサネットボードやプリンタの設定をすることができます。
［設定］メニューの［TELNET による設定］を選択します。

リセット

イーサネットボードをリセットすることができます。
［設定］メニューの［リセット］を選択します。

テスト印刷

自己診断テストをすることができます。
［設定］メニューの［テスト印刷］を選択します。

IPアドレス設定

IP アドレスを設定することができます。
［設定］メニューの［IP アドレス設定］を選択します。

プリンタステータス

プリンタのステータスを表示できます。

［ステータス］メニューの［プリンタステータス］を選択します。

システムステータス

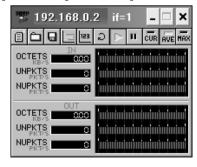
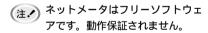
イーサネットボードのステータスを表示できます。

［ステータス］メニューの［システムステータス］を選択します。

ネットメータ

ネットワークの利用状況をリアルタイムで表示できます。

［ステータス］メニューの［ネットメータ］を選択します。

ネットメータはフリーソフトウェアです。動作保証されません。

NetWare のキュー作成

NetWare サーバ上にプリントキューを作成することができます。

- **コンピュータに、Novell Client がインストールされている必要があります。**
- **ネットワークの管理者の権限が必要です。**
- **NetWare5J/4.1J(NDS)リモートプリンタモードのプリントキューは、NDS モードで作成する必要があります。バインダリモードでは作成できません。**

❶ 一覧より、イーサネットボードを選択し、［設定］メニューの［NetWare のキュー作成］を選択します。

❷ ［次へ］をクリックします。

❸ ネットワーク環境にあわせて、［NDS モード］か［バインダリモード］を選択し、［次へ］をクリックします。

❹ 画面の指示に従い、NetWare キューを作成します。

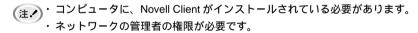
❺ 設定内容に間違いがなければ、［実行］をクリックします。

NetWare サーバに設定内容が送信されます。

❻ ［完了］をクリックします。

NetWare のオブジェクト削除

NetWare サーバ上に作成しているプリントサーバ、プリントキュー、プリンタを削除することができます。

- **コンピュータに、Novell Client がインストールされている必要があります。**
- **ネットワークの管理者の権限が必要です。**

❶ 一覧より、イーサネットボードを選択し、［設定］メニューの［NetWare のオブジェクト削除］を選択します。

❷ ［NDS モード］か［バインダリモード］を選択し、削除するオブジェクトを選択します。

❸ ［削除］をクリックします。

［削除］は取り消すことができません。十分気をつけてオブジェクトを選んでください。

❹ ［終了］をクリックします。

環境設定

CVO AdminManager の環境を設定することができます。

［オプション］メニューの［環境設定］を選択します。

TCP/IPタブ

TCP/IP でイーサネットボードの検索をするかどうか設定します。

ブロードキャストアドレスを設定します。

NetWareタブ

NetWare（IPX）プロトコルでイーサネットボードの検索をするかどうか設定します。

検索時に取得できたネットワークだけを検索します。

NetWareでイーサネットボードを検索するときのNetWareネットワーク番号を設定します。

NetWare ファイルサーバが多数ある場合は、イーサネットボードが存在するネットワーク番号を設定します。

Timeoutタブ

イーサネットボードからの応答待ち時間を秒単位で設定します。

CVO AdminManager とイーサネットボードの間のタイムアウト時間を秒単位で設定します。

CVO AdminManager とイーサネットボードの間のリトライ回数を設定します。

Quick Setup を使います

イーサネットボードの簡易設定ができます。

動作環境

WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0 日本語版
TCP/IP か IPX/SPX で動作しているコンピュータ

- **コンピュータはイーサネットボードと同一セグメントに存在している必要があります。**
- **NetWare の設定をするときは、コンピュータに Novel Client がインストールされていて、ネットワークの管理者の権限が必要です。**

起動と設定方法

❶ プリンタの電源が ON になっていることを確認します。

❷ イーサネットボード付属の「ネットワークソフトウェア CD-ROM」をセットします。

Setup Utility が自動的に起動します。

注 **自動的に起動しない場合は、CD-ROM の［Windows］フォルダの中の［Autorun.exe］をダブルクリックしてください。**

❸［Network Device Quick Setup］をクリックします。

❹［次へ］をクリックします。

❺ 使用許諾契約に同意する場合は［はい］をクリックします。

❻ 設定を行うイーサネットボードのイーサネットアドレスを設定して、[次へ]をクリックします。

注 **イーサネットアドレスは、自己診断テストに表示されています。**

❼ TCP/IPの設定を行い、[次へ] をクリックします。

❽ NetWare の設定を行い、[次へ] をクリックします。

❾ NetBEUI の設定を行い、[次へ] をクリックします。

❿ 設定内容を確認し、[実行] をクリックします。

設定値がイーサネットボードに送信されます。

注 **ただしこの時点では、イーサネットボードは送信前の設定値で動作しています。**

⓫ 設定値を有効にするために、[完了] をクリックします。

Web ブラウザを使います

イーサネットボードの設定やプリンタのメニュー設定ができます。

動作環境

・Microsoft Internet Explorer Ver.3.0 以上
・Netscape Navigator Ver.3.0 以上

以下の環境を例にしています。

Web ブラウザ	：Microsoft Internet Explorer Ver.6.0
IP アドレス	：192.168.0.2
プリンタ	：CASIO SPEEDIA V2
イーサネットアドレス	：00:80:92:08:0F:44

注
・イーサネットアドレスは自己診断テストに表示されています。
・イーサネットボードは TCP/IP で接続されている必要があります。

起動方法

❶ Web ブラウザを起動します。

❷ ［アドレス］にイーサネットボードのIPアドレスを入力し、Enterキーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

注 **IP アドレスに1桁または2桁までの数値を含む場合、数値の前に「0」を入力しないでください。通信が正しく行われない場合があります。**

（例）正しい入力値：
http://192.168.0.2/
誤った入力値：
http://192.168.000.002/

注 **［プリンタステータス］画面の［ステータス更新］ボタンを有効にするにはWebブラウザでの次の設定が必要です。**

Microsoft Internet Explorer5.0J の場合は、［表示］メニューの［インターネットオプション］を選択し、［全般］タブ -［インターネット一時ファイル］-［設定］-［保存しているページの新しいバージョンの確認：］を［ページを表示するごとに確認する］に設定します。

Netscape Navigator4.04J の場合は、［編集］メニューの［設定］を選択し、［詳細］-［キャッシュ］-［キャッシュしたドキュメントとネットワーク上のドキュメントとの比較］を［セッション毎］に設定します。
設定の変更直後にWebブラウザの大きさを変更すると、［セキュリティ情報］ダイアログが表示されることがあります。その場合は、ダイアログの中の［次回もこの警告を表示する］のチェックを外してください。

設定方法

❶ プリンタステータス画面の左のフレームの［ネットワークメニュー］をクリックし、変更する項目をクリックします。

❷ ［ユーザー名］に「root」、［パスワード］に「イーサネットアドレスの下6桁」を

注
- **パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。**
- **パスワードに英文字が入っている場合、大文字/小文字を正しく入力してください。**

新しい設定値がイーサネットボードに送信されると、次のような画面が表示されます。

パスワードの設定

設定を変更するときに使用するパスワードを変更することができます。

❶ Web ブラウザの［アドレス］に、パスワード設定用URL「http:// プリンタのIP アドレス /system_password.htm」を入力します。

> **例 1）プリンタの IP アドレスが「192.168.0.2」の場合**
> **http://192.168.0.2/system_ password.htm**

❷［ユーザー名］に「root」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

メモ **パスワードの初期値は「イーサネットアドレスの下 6 桁」です。**

❸［新しいパスワードの入力］に新しいパスワードを入力し、［新しいパスワードの再入力］に再度新しいパスワードを入力します。

- **パスワードを入力すると、画面上では「*****」と表示されます。**
- **パスワードは 5 ～ 24 桁までの英数字を入力してください。**
- **パスワードに英文字が入っている場合、大文字/小文字を正しく入力してください。**

❹［OK］をクリックします。

新しいパスワードが設定されると、次のような画面が表示されます。

新しいパスワードは、次回の設定を変更するときから有効となります。プリンタの電源の OFF/ON は必要ありません。

注 **このパスワードは telnet、CVO Admin Manager のパスワードとは異なります。**

新しいパスワードの設定に失敗すると、次のような画面が表示されます。

再度パスワードの設定を行ってください。

ネットワークメニュー

イーサネットボードの設定ができます。
各項目の詳細については、「設定項目の一覧」（92 ページ）をご覧ください。

ネットワークステータス

一般ネットワーク設定

TCP/IP設定

NetWare設定

NetBEUI設定

Email設定

SNMP Traps設定

プリンタメニュー

プリンタの設定ができます。
各項目の詳細については、各プリンタのユーザーズマニュアルをご覧ください。
お使いのプリンタにより表示項目が異なります。

・プリンター般情報
・一般設定
・印刷・メディアメニュー
・カラー・システム・PCL メニュー
・セントロ・USB メニュー
・メモリ・Disk メンテナンスメニュー
・システム補正・メンテナンスメニュー

サポートメニュー

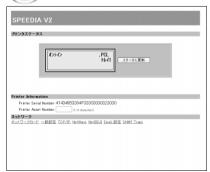
標準リンクを 5 件、カスタムリンクを 5 件登録できます。

リンク編集メニューをクリックすると下記編集画面が表示されます。

注 **URL は、Http:// も含めて入力してください。**

Printer Information

プリンタのアセット番号（管理番号）を最大 8 文字まで入力できます。

注 **プリンタのシリアル番号は常に空欄です。**

telnet を使います

イーサネットボードの設定ができます。

注 **プリンタにより設定できる項目や表示される内容が異なります。**

設定方法

以下の環境を例にしています。

UNIX　　　　　　: Sun Solaris 2.4
IP アドレス　　　: 192.168.0.2
イーサネットアドレス　: 00:80:92:08:0F:44

注 **イーサネットアドレスは自己診断テストに表示されています。**

❶ ワークステーションにルートでログインします。

❷ arp コマンドでイーサネットボードに一時的な IP アドレスを設定します。

```
# arp -s 192.168.0.2
00:80:92:08:0F:44 temp
```

❸ ping コマンドで接続を確認します。

```
# ping 192.168.0.2
```

❹ telnetでイーサネットボードにログインします。

注 **ユーザ名は「root」、パスワードは「なし」（初期値）です。**

```
EthernetBoard FastEther7300e Ver 1.1.0-b2D TELNET server.

login: root
'root' user needs password to login.
password:
User 'root' logged in.

 No.  Message                    Value          (level.1)
-------------------------------------------------------
  1 : Setup TCP/IP
  2 : Setup SNMP
  3 : Setup NetWare
  4 : Setup NetBEUI
  5 : Setup printer port
  6 : Display status
  7 : Setup printer trap
  8 : Setup SMTP(E-Mail)
  9 : Setup POP(E-Mail)
 97 : Reset to factory set
 98 : Quit setup
 99 : Exit setup
Please select(1 - 99)?
```

注 **97：イーサネットボードを初期化します。**
98：設定を変更せずに前画面に戻ります。
99：設定を変更して前画面に戻ります。

❺ 変更する項目の番号を入力し、「Enter キー」を押します。

❻ 各項目を設定します。

❼ イーサネットボードからログアウトします。

❽ 新しい設定を有効にするために、プリンタの電源を OFF/ON します。

注 **プリンタの電源をOFF/ONしない場合、イーサネットボードは送信前の設定値で動作しています。必ず、プリンタの電源を OFF/ON してください。**

設定項目

TCP/IP設定画面

```
Please select(1 - 99)? 1

 No.  Message                   Value            (level.2)
---------------------------------------------------------
  1 : TCP/IP protocol         : ENABLE
  2 : IP address              : 192.168.0.2
  3 : Subnet mask             : 255.255.255.0
  4 : Gateway address         : 192.168.0.1
  5 : RARP protocol           : DISABLE
  6 : DHCP/BOOTP protocol     : DISABLE
  7 : DNS server(Pri.)        : 0.0.0.0
  8 : DNS server(Sec.)        : 0.0.0.0
  9 : root password           : ""
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

SNMP設定画面

```
Please select(1 - 99)? 2

 No.  Message                   Value            (level.2)
---------------------------------------------------------
  1 : Authentic community     : "******"
  2 : Trap community          : "public"
  3 : Trap address            : 0.0.0.0
  4 : SysContact              : ""
  5 : SysName                 : ""
  6 : SysLocation             : ""
  7 : DefaultTTL              : 255
  8 : EnableAuthenTrap        : 2
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

NetWare設定画面

```
Please select(1 - 99)? 3

 No.  Message                   Value            (level.2)
---------------------------------------------------------
  1 : NetWare protocol        : ENABLE
  2 : Packet type             : AUTO
  3 : NetWare mode            : PSERVER
  4 : Setup PSERVER mode
  5 : Setup RPRINTER mode
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1 - 99)? 4

 No.  Message                   Value            (level.3)
---------------------------------------------------------
  1 : FSERVER name 1          : ""
  2 : FSERVER name 2          : ""
  3 : FSERVER name 3          : ""
  4 : FSERVER name 4          : ""
  5 : FSERVER name 5          : ""
  6 : FSERVER name 6          : ""
  7 : FSERVER name 7          : ""
  8 : FSERVER name 8          : ""
  9 : Machine name            : "ETHER080F44"
 10 : Password                : ""
 11 : Job polling interval    : 4
 12 : Bindery mode            : ENABLE
 13 : NDS tree                : ""
 14 : NDS context             : ""
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1 - 99)? 5

 No.  Message                   Value            (level.3)
---------------------------------------------------------
  1 : PSERVER name 1          : ""
  2 : PSERVER name 2          : ""
  3 : PSERVER name 3          : ""
  4 : PSERVER name 4          : ""
  5 : PSERVER name 5          : ""
  6 : PSERVER name 6          : ""
  7 : PSERVER name 7          : ""
  8 : PSERVER name 8          : ""
  9 : Job timeout             : 10
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

NetBEUI設定画面

```
Please select(1 - 99)? 4

 No.  Message                   Value            (level.2)
---------------------------------------------------------
  1 : NetBEUI protocol        : ENABLE
  2 : Computer name           : "ETHER080F44"
  3 : Workgroup name          : "PrintServer"
  4 : Comment                 : "EthernetBoard FastEther7300e"
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

printer port設定画面

```
Please select(1 - 99)? 5

 No.  Message                   Value            (level.2)
---------------------------------------------------------
  1 : NetWare port name       : "ETHER082121-prn1"
  2 : BOJ string              : ""
  3 : EOJ string              : ""
  4 : BOJ string(KANJI)       : ""
  5 : EOJ string(KANJI)       : "¥x04"
  6 : Printer type            : PS
  7 : TAB size   (char.)      : 8
  8 : Page width (char.)      : 78
  9 : Page length(line)       : 66
 10 : lpr/ftp banner          : NO
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

Display State設定画面

```
Please select(1 - 99)? 6

Display status
  1 : prn1
  2 : system
Please select(1 - 2)?
```

```
Please select(1 - 2)? 1
prn1 :
Ready

Display status
  1 : prn1
  2 : system
Please select(1 - 2)?
```

```
Please select(1 - 2)? 2
FastEther7300e Version 1.1.0-b2D
TCP/IP status
   IP address  : 192.168.0.2
   Subnet Mask : 255.255.255.0
   Gateway addr: 192.168.0.1
   DNS server(Pri.): 0.0.0.0
   DNS server(Sec.): 0.0.0.0
NetWare status
   NWPrint mode: Failed
EtherTalk status:Disabled
NetBEUI status
   Computer Name  : ETHER080F44
   Workgroup Name : PrintServer
   Master Browser : ETHER081ED7
E-MAIL status
   Session:88 times.
POP is DISABLE.
SMTP recive status:Disabled
SMTP transmit status:Disabled
Display status
  1 : prn1
  2 : system
Please select(1 - 2)?
```

printer trap設定画面

```
Please select(1 - 99)? 7

 No.  Message                    Value            (level.2)
------------------------------------------------------------
  1 : Prn-Trap community     : "public"
  2 : Setup TCP#1 trap
  3 : Setup TCP#2 trap
  4 : Setup TCP#3 trap
  5 : Setup TCP#4 trap
  6 : Setup TCP#5 trap
  7 : Setup IPX   trap
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1 - 99)? 2

 No.  Message                    Value            (level.3)
------------------------------------------------------------
  1 : TCP#1 Trap enable      : DISABLE
  2 : On-line trap           : DISABLE
  3 : Off-line trap          : DISABLE
  4 : Paper Out trap         : DISABLE
  5 : Paper Jam trap         : DISABLE
  6 : Cover Open trap        : DISABLE
  7 : Printer Error trap     : DISABLE
  8 : TCP#1 Trap address     : 0.0.0.0
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1 - 99)? 7

 No.  Message                    Value            (level.3)
------------------------------------------------------------
  1 : IPX   Trap enable      : DISABLE
  2 : On-line trap           : DISABLE
  3 : Off-line trap          : DISABLE
  4 : Paper Out trap         : DISABLE
  5 : Paper Jam trap         : DISABLE
  6 : Cover Open trap        : DISABLE
  7 : Printer Error trap     : DISABLE
  8 : IPX   Trap address     : "000000000000"
  9 : IPX   Trap net         : "00000000"
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

SMTP(E-Mail)設定画面

```
Please select(1 - 99)? 8

 No.  Message                    Value            (level.2)
------------------------------------------------------------
  1 : SMTP Transmit          : DISABLE
  2 : SMTP Receive           : DISABLE
  3 : SMTP server name       : ""
  4 : SMTP port number       : 25
  5 : E-mail address         : ""
  6 : Reply-To address       : ""
  7 : Event to address 1
  8 : Event to address 2
  9 : Event to address 3
 10 : Event to address 4
 11 : Event to address 5
 12 : Signature line 1       : ""
 13 : Signature line 2       : ""
 14 : Signature line 3       : ""
 15 : Signature line 4       : ""
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1 - 99)? 7

 No.  Message                    Value            (level.3)
------------------------------------------------------------
  1 : To Address 1           : ""
  2 : Re-send Interval       : DISABLE
  3 : Off Line               : DISABLE
  4 : Consumable Message     : DISABLE
  5 : Toner Low/Out          : DISABLE
  6 : Paper Low/Out          : DISABLE
  7 : Paper Jam              : DISABLE
  8 : Cover Open             : DISABLE
  9 : Stacker Error          : DISABLE
 10 : Mass Storage Error     : DISABLE
 11 : Recoverable  Error     : DISABLE
 12 : Service Call Req.      : DISABLE
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

POP(E-Mail)設定画面

```
Please select(1 - 99)? 9

 No.  Message                    Value            (level.2)
------------------------------------------------------------
  1 : POP3 protocol          : DISABLE
  2 : POP3 server            : ""
  3 : POP port number        : 110
  4 : POP3 server UserID     : ""
  5 : POP3 server Password   : ""
  6 : Use APOP               : NO
  7 : Retrieve every(min.)   : OFF
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

DHCP/BOOTP を使います

DHCP サーバまたは BOOTP サーバから IP アドレスを取得できます。

注

- **DHCP サーバ、BOOTP サーバを設定するには、スーパーユーザの権限が必要です。**
- **IPアドレスの入力を間違えると、ネットワークがダウンするなどの重大な障害が発生する恐れがあります。ネットワーク管理者と十分相談の上、設定してください。**

DHCP サーバの設定

DHCP とは、TCP/IP ネットワーク上の各ホストに動的に IP アドレスを割り当てるためのプロトコルです。IP アドレスの他にサブネットマスクを設定することもできます。

注 **イーサネットボードには、固定のIPアドレスが割り当てられるようにDHCPサーバを設定してください。ランダムにIPアドレスを割り当てると、ネットワーク経由で印刷ができません。固定のIPアドレスを割り当てる方法については、各DHCPサーバのマニュアルをご覧ください。**

動作確認環境

WindowsNT Server4.0 日本語版 DHCP サーバ
WindowsNT Server4.0 日本語版 DHCP リレーエージェント
Sun OS 4.1.3+WIDE 版 DHCP バージョン 1.3.6

以下の説明は、WindowsNT Server4.0 日本語版 DHCP サーバを例にしています。

❶［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］を選択します。

❷［ネットワーク］をダブルクリックし、［サービス］タブを開きます。

［ネットワークサービス］に［Microsoft DHCP サーバー］が表示されている場合は？

☞ ❻へ進みます。

❸［追加］をクリックします。

❹［Microsoft DHCPサーバー］を選択し、［OK］をクリックします。

❺ Windows を再起動します。

---

❻［スタート］-［プログラム］-［管理ツール（共通）］-［DHCP マネージャ］を選択します。

❼［DHCPサーバー］一覧からスコープを作成するサーバをクリックします。

❽［スコープ］メニューの［作成］を選択し、［IP アドレス　プール］の設定を行い、［OK］をクリックします。

❾［スコープ］メニューの［予約の追加］を選択し、各項目を入力し、［追加］をクリックします。

❶ IP アドレスを入力します。

❷［一意の ID］に、イーサネットボードのイーサネットアドレスを入力します。

❸［クライアント名］、［クライアントコメント］に任意の名前を入力します。

- **必ず［予約の追加］で IP アドレスを割り当ててください。**
- **イーサネットアドレスは自己診断テストに表示されています。**

❿［閉じる］をクリックします。

⓫［スコープ］メニューの［アクティブ化］を選択し、作成したスコープをアクティブにします。

⓬［DHCP マネージャ］を終了します。

BOOTP サーバの設定

BOOTP とは、TCP/IP ネットワーク上の各ホストに、BOOTP サーバに登録した IP アドレスを割り付けるプロトコルです。

以下の環境を例にしています。

ワークステーション	：HP-UX 9.x の BOOTP サーバ
IP アドレス	：192.168.0.2
イーサネットアドレス	：00:80:92:00:13:46
ホスト名	：SPEEDIAV2

注 **イーサネットアドレスは、自己診断テストに表示されています。**

❶ /etc/hosts ファイルに、イーサネットボードの IP アドレスとホスト名を登録します。

```
192.168.0.2 SPEEDIAV2
```

❷ /etc/bootptab ファイルに次の設定を追加します。

```
SPEEDIAV2:\
```
/etc/hosts に登録したホスト名

```
ht=ether:\
```
ハードウェアタイプを［ether］にします。

```
ha=008092001346:\
```
イーサネットアドレス

```
ip=192.168.0.2:\
```
IP アドレス

```
sm=255.255.255.0:\
```
サブネットマスク

```
gw=0.0.0.0:\
```
ゲートウェイ

❸ /etc/inetd.confファイルに次の設定を追加します。

```
bootps dgram udp wait root /
etc/ bootpd bootpd
```

❹ inetd を再起動します。

```
# kill -1 1
```

❺ プリンタの電源を ON にします。

イーサネットボードの設定

以下の説明は、Standard Setup（CVO AdminManager）を例にしています。

注 **イーサネットボードの初期設定では、「DHCP/BOOTP protocol」が「ENABLE」に設定されています。イーサネットボードを初期設定でお使いの場合は、設定の必要はありません。**

❶ プリンタの電源が ON になっていることを確認します。

❷ イーサネットボード付属の「ネットワークソフトウェア CD-ROM」をセットします。

Setup Utility が自動的に起動します。

注 **自動的に起動しない場合は、CD-ROM の［Windows］フォルダの中の［Autorun.exe］をダブルクリックしてください。**

❸ [Network Device Standard Setup]をクリックします。

❹ [インストールせずに、直接CD-ROMから起動する]を選択し、[次へ]をクリックします。

❺ 使用許諾契約に同意する場合は [はい] をクリックします。

CVO AdminManager が起動します。

❻ 一覧よりイーサネットアドレスを参照して、設定を行うイーサネットボードを選択します。

注 **イーサネットアドレスは、自己診断テストに表示されています。**

❼ ［設定］メニューの［Network Deviceの設定］を選びます。

❽［TCP/IP］タブの［DHCP/BOOTPを使用する］をチェックし、［設定］をクリックします。

❾ 設定に間違いがなければ、［OK］をクリックします。

設定値がイーサネットボードに送信されます。

注 **ただしこの時点では、イーサネットボードは送信前の設定値で動作しています。**

❿ 設定値を有効にするため、［はい］をクリックします。

注 **ここで［いいえ］を選択した場合、プリンタの電源をOFF/ONすれば設定値が反映されます。**

メール送信機能（SMTP）を使います

メール送信機能（SMTP）を実装しています。プリンタにエラーが発生した場合、メールを送信することができます。
Standard Setup（CVO AdminManager）、Webブラウザ、telnetで設定ができます。

以下の説明はStandard Setup（CVO AdminManager）を例にしています。

❶ プリンタの電源がONになっていることを確認します。

❷ イーサネットボード付属の「ネットワークソフトウェアCD-ROM」をセットします。

Setup Utilityが自動的に起動します。

注 **自動的に起動しない場合は、CD-ROMの［Windows］フォルダの中の［Autorun.exe］をダブルクリックしてください。**

❸ [Network Device Standard Setup]をクリックします。

❹ [インストールせずに、直接CD-ROMから起動する]を選択し、[次へ]をクリックします。

❺ 使用許諾契約に同意する場合は[はい]をクリックします。

CVO AdminManagerが起動します。

❻ 一覧よりイーサネットアドレスを参照して、設定を行うイーサネットボードを選択します。

注 **イーサネットアドレスは、自己診断テストに表示されています。**

❼ [設定]メニューの[Network Deviceの設定]を選択します。

❽ ［SMTP］タブを選択し、各項目を設定します。

❶ 「SMTP 送信プロトコルを使用する」にチェックを付けます。

❷ SMTP サーバアドレス / サーバ名を入力します。

❸ 返信用アドレスを入力します。

❹ E-Mail アドレスを入力します。

注
- **「SMTP サーバアドレス / サーバ名」にドメイン名を入力する場合は、[TCP/IP] タブの [DNSサーバ] を設定してください。**
- **E-Mailアドレスは、イーサネットボードのバージョンにより、設定できない場合があります。**

❾ ［送信条件 1-5］をクリックし、各項目を設定し、［OK］をクリックします。

❶ メールを送信する条件を設定します。

❷ 送信先アドレスを入力します。

❸ チェック間隔を設定します。

❿ ［詳細設定］をクリックし、各項目を設定し、［OK］をクリックします。

❶ SMTPのポート番号を設定します。通常は 25（初期設定）でご使用ください。

❷ メールの文末に付加する署名（コメント）を入力します。

⓫ ［設定］をクリックします。

⓭ 設定に間違いがなければ、［OK］をクリックします。

設定値がイーサネットボードに送信されます。

注 **ただしこの時点では、イーサネットボードは送信前の設定値で動作しています。**

⓬ 設定値を有効にするため、［はい］をクリックします。

注 **ここで［いいえ］を選択した場合、プリンタの電源をOFF/ONすれば設定値が反映されます。**

メール受信機能（POP3）を使います

メール受信機能（POP3）を実装しています。プリンタが受信したメールにTXTファイルが添付されていると、プリンタは添付されたTXTファイルを印刷することができます。Standard Setup（CVO AdminManager)、Webブラウザ、telnetで設定ができます。

- **メールに添付されたTXTファイル中に、ShiftJISコード以外の文字コードが使用されている場合、正しく印刷できません。**

- **メール本文は印刷しません。**
- **TXTファイルが添付されていない場合は印刷しません。**

以下の説明はStandard Setup（CVO AdminManager）とWindowsXPを例にしています。

❶ プリンタの電源がONになっていることを確認します。

❷ イーサネットボード付属の「ネットワークソフトウェアCD-ROM」をセットします。

Setup Utilityが自動的に起動します。

注 **自動的に起動しない場合は、CD-ROMの［Windows］フォルダの中の［Autorun.exe］をダブルクリックしてください。**

❸ [Network Device Standard Setup]をクリックします。

❹ [インストールせずに、直接CD-ROMから起動する]を選択し、[次へ]をクリックします。

❺ 使用許諾契約をよく読み、[はい］をクリックします。

CVO AdminManagerが起動します。

❻ 一覧よりイーサネットアドレスを参照して、設定を行うイーサネットボードを選択します。

❼ [設定]メニューの[Network Deviceの設定］を選びます。

❽ ［POP］タブを選択し、各項目を設定します。

❶ 「POP3 プロトコルを使用する」にチェックを付けます。

❷ POP3サーバアドレス/サーバ名を入力します。

❸ POP3 サーバユーザー ID と POP3 サーバパスワードを入力します。

❹ お使いのPOP3サーバがAPOP機能をサポートしている場合は、［Use APOP］にチェックを付けます。

❺ POP3 受信間隔を選択します。

注

- **POP3サーバアドレス/サーバ名にドメイン名を入力する場合は、［TCP/IP］タブの［DNS サーバ］を選択してください。**
- **POP3 サーバが APOP 機能をサポートしていない場合に、［Use APOP］にチェックを付けるとメールの受信が正しく行えません。**
- **POP3受信間隔に「OFF」が選択されていると、メール受信を行いません。**

メモ **［SMTP］タブの「SMTP受信プロトコルを使用する」にチェックをつけることでも、メール受信機能を使うことができます。ただし、SMTP 受信のためには、メールサーバおよび DNS サーバにメール配送のための設定がなされていることが必要です。**

❾ ［設定］をクリックします。

❿ 設定に間違いがなければ、［OK］をクリックします。

設定値がイーサネットボードに送信されます。

注 **ただしこの時点では、イーサネットボードは送信前の設定値で動作しています。**

⓫ 設定値を有効にするため、［はい］をクリックします。

注 **ここで［いいえ］を選択した場合、プリンタの電源をOFF/ONすれば設定値が反映されます。**

SNMPを使います

イーサネットボードは、SNMPエージェントを実装しています。SNMPマネージャでプリンタを管理することができます。
設定値を変更するには、telnet、Webブラウザ、CVO AdminManager（Windows）を使用します。各項目の詳細については「設定項目の一覧」（92ページ）をご覧ください。

8 その他のユーティリティを使います

CVO LPR ユーティリティを利用します

LPR 印刷、印刷ジョブの管理、プリンタのステータス確認ができます。

動作環境

WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0 日本語版
TCP/IP で動作しているコンピュータ

セットアップします

以下の説明は、WindowsXP を例にしています。

❶ 一旦、「通常使うローカルプリンタ（LPT1:)」としてプリンタドライバをセットアップします。

プリンタドライバのセットアップ方法は、プリンタのユーザーズマニュアルをご覧ください。

❷ イーサネットボード付属の「ネットワークソフトウェアCD-ROM」をセットします。

Setup Utility が自動的に起動します。

❸ ［Exit］をクリックして終了します。

❹ ［スタート］-［ファイル名を指定して実行］を選択します。

❺ ［名前］に次のように入力し、［OK］をクリックします。

D:\LPR\SETUP
CD-ROM ドライブが D:の場合

❻ セットアッププログラムが開始されるので、［次へ］をクリックします。

❼ インストール先とスプール先のフォルダを確認し、[次へ] をクリックします。

❽［スタートアップに登録する］にチェックが入っていることを確認し、［次へ］をクリックします。

❾ プログラムフォルダ名を確認し、［次へ］をクリックします。

❿［完了］をクリックすると、CVO LPRユーティリティが起動します。

⓫［リモートプリント］メニューの［プリンタの追加］を選択します。

⓬［プリンタ］を選択し、［IPアドレス］にイーサネットボードのIPアドレスを入力し、［OK］をクリックします。

メモ **［検索］をクリックしてネットワーク上のプリンタを検索することもできます。**

メインウィンドウにプリンタが追加されます。

CVO LPRユーティリティを起動させたまま、アプリケーションから印刷します。

ファイルのダウンロード

ファイルをプリンタにダウンロードすることができます。

❶ プリンタを選択します。

❷ ［リモートプリント］メニューの［ダウンロード］を選択します。

❸ ダウンロードするファイルを選択し、［開く］をクリックします。

ファイルのダウンロードが開始されます。

ジョブの表示、削除と手動転送

印刷ジョブを表示したり、削除することができます。
また、プリンタが使用中やオフライン、用紙切れ等で印刷ができない場合、印刷ジョブを他のプリンタへ転送することができます。

注

- **他社プリンタへは転送できません。**
- **同じプリンタ機種名へ転送してください。**

❶ プリンタを選択します。

❷ ［リモートプリント］メニューの［ジョブの表示］を選択します。

ジョブが表示されます。

❸ 削除したい印刷ジョブを選択し、［ジョブ］メニューの［削除］を選択します。

ジョブが削除されます。

❹ 転送したい印刷ジョブを選択し、［ジョブ］メニューの［転送］で転送先のプリンタを選択します。

転送先のプリンタにジョブが送られます。

注 **転送できるプリンタは、あらかじめCVO LPRユーティリティにセットアップされている必要があります。**

プリンタのステータス

プリンタのステータスを表示させることができます。

❶ プリンタを選択します。

❷［リモートプリント］メニューの［プリンタのステータス］を選択します。

プリンタのステータスが表示されます。

ジョブの自動転送

プリンタが使用中やオフライン、用紙切れ等で印刷ができない場合、自動的に印刷ジョブを他のプリンタへ転送することができます。

注
- **他社プリンタへは転送できません。**
- **必ず、同じプリンタ機種名へ転送してください。**

❶ プリンタを選択します。

❷［リモートプリント］メニューの［プリンタの再設定］を選択します。

❸［詳細設定］ボタンをクリックします。

❹［ジョブの自動転送を行う］にチェックをつけ、転送先プリンタのIPアドレスを設定します。

メモ

［検索］をクリックして、ネットワーク上のプリンタを検索することもできます。

❺［OK］をクリックします。

自動的に IP アドレス再設定

DHCPサーバに接続しプリンタの電源を入れる度にプリンタのIPアドレスが変更になる場合、自動的に変更された IP アドレスを検索し再設定することができます。

注
- **検索対象は、CVO LPR ユーティリティの検索範囲に従います。**
- **CVO LPR ユーティリティ Ver.3.06 以降が必要です。**

❶ プリンタを選択します。

❷［オプション］メニューの［設定］を選択します。

❸［自動的にIPアドレスを再設定する］にチェックをつけます。

❹［OK］をクリックします。

CVO LPR ユーティリティの削除

❶［ファイル］メニューの［終了］を選択します。

❷［スタート］-［すべてのプログラム］-［CASIO SPEEDIA V2］-［CVO LPR ユーティリティ］-［CVO LPRユーティリティの削除］を選択します。

❸［はい］をクリックします。

削除が開始されます。

CVO Network Extension を使います

プリンタドライバからプリンタの設定項目を確認したり、プリンタのオプション構成の設定が容易にできます。

動作環境

WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0 日本語版が動作するコンピュータ
TCP/IP で動作しているコンピュータ

- **プリンタドライバと連動して動作するため、プリンタドライバのインストールが必要です。**
- **TCP/IPのネットワーク接続でプリンタドライバのインストールを行うと、自動的に Network Extension がインストールされます。**
- **プリンタドライバの接続先が以下の場合にのみ動作します。**
  CVO LPR Port
  Standard TCP/IP Port（WindowsXP/2000 の場合）
  LPR Port（WindowsNT4.0 の場合）
- **WindowsXP/2000/NT4.0 ではコンピュータの管理者の権限が必要です。**

インストールします

以下の説明は、WindowsXP を例にしています。

❶ プリンタの電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、イーサネットボード添付の「ネットワークソフトウェア CD-ROM」をセットします。

Setup Utility が自動的に起動します。

❸ [EXIT] をクリックして終了します。

❹ [スタート] - [ファイル名を指定して実行] を選択します。

❺ [名前] に次のように入力し、[OK] をクリックします。

D:\NETTEXT\SETUP
CD-ROM ドライブが D:の場合

❻ セットアッププログラムが開始されるので、[次へ] をクリックします。

❼ 使用許諾契約に同意する場合は [はい] をクリックします。

❽ [完了] をクリックすます。

使用方法

❶［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（WindowsXP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］をクリックします。）

❷ プリンタ名アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸［デバイスオプション］タブをクリックします。

❹［プリンタの情報を取得する］をクリックします。

❺［OK］をクリックします。

削除方法

❶［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］-［アプリケーションの追加と削除］（WindowsXP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プログラムの追加と削除］）を選択します。

❷［CVO Network Extension］を選択し、削除します。

9 困ったときには

ネットワーク経由で印刷できない

ネットワーク接続

・ストレートケーブルでハブに接続します。

・コネクタがゆるんでいないか、コネクタのピンが曲がっていないか確認します。予備のケーブルがあれば交換してみます。

・スイッチングハブを使用している場合は、スイッチングハブの動作モード（100BASE-TX/10BASE-T、全二重 / 半二重）を「自動切替」から「手動」にしてみます。

・ケーブルを接続してからプリンタの電源を ON にします。ケーブルを接続しないで先にプリンタの電源を ON にするとネットワークで確認できないことがあります。

・ケーブルの接続経路が間違っている可能性があります。プリンタを他のハブやネットワークに接続したり、ネットワークから切り離して、コンピュータとプリンタをクロスケーブルで 1 対 1 で接続してみてください。

プリンタ

・プリンタの電源が ON になっていることを確認します。

・プリンタの電源をOFF/ONします。それでも復旧しない場合はプリンタ設定を初期化します。

イーサネットボード

- LINK 100M ランプ（緑）/LINK 10M ランプ（緑）を確認します。100BASE-TX/10BASE-T で接続している場合にそれぞれ点灯します。
- STATUSランプ（橙）を確認します。データを受信しているときに点滅します。「一定間隔（1秒あるいは0.1秒）で点滅」「常に点灯」「常に消灯」している場合はイーサネットボードが正常に動作していない状態です。
- イーサネットボードの自己診断テスト（プッシュスイッチを3秒間以上押してから指を離します）を行い、下記項目を確認します。

  ［ROM Check］,［RAM Check］,［NIC Check］,［EEPROM Check］が全て［OK］になっていること。

  ［DIPSW1］,［DIPSW2］,［DIPSW3］,［DIPSW4］が全て［OFF］になっていること。

  TCP/IP プロトコルを使用している場合は、［TCP/IP Protocol］が「ENABLE」、［DHCP/BOOTP protocol］と［RARP protocol］が「DISABLE」になっていること。また、［IP address］,［Subnet mask］,［Gateway address］が正しいこと。［IP address］だけでは正しく動作しません。通常、［Subnet mask］,［Gateway address］は Windows の設定と同じ値です。

  NetBEUI プロトコルプロトコルを利用する場合は、［NetBEUI protocol］が「ENABLE」になっていること。

  NetWare プロトコルを利用する場合は、［NetWare protocol］が「ENABLE」になっていること。
- イーサネットボードを初期化（プッシュスイッチを押したままプリンタの電源をオンにし、3秒間以上押し続けてから指を離します）してから、再セットアップします。特にプリンタを他のネットワークから移動した時は必ず初期化してください。

WindowsMe/98/95

LPR（TCP/IP）プロトコルを利用する場合

・［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］-［ネットワーク］-［ネットワークの設定タブ］-［現在のネットワークコンポーネント］で、［TCP/IP → ***］（*** はアダプタ名）が表示されていることを確認します。

・［TCP/IP → ***］（*** はアダプタ名）の［プロパティ］で、［IP アドレス］,［サブネットマスク］,［ゲートウェイ］が正しいか確認します。

・［スタート］-［設定］-［プリンタ］-［使用しているプリンタ］の［プロパティ］を選択し、［詳細タブ］-［スプールの設定］で［このプリンタの双方向通信をサポートしない］にチェックが付いていることを確認します。

・「CV0 LPRユーティリティ」画面で、［使用しているプリンタ］を選択してから［リモートプリントメニュー］-［プリンタの再設定］を選択し、［IP アドレス］がプリンタの IP アドレスと一致しているか確認します。

・小規模ネットワークの場合、次のように設定してみてください。

［IP アドレス］　Windows　192.168.0.1
イーサネットボード　192.168.0.2
［サブネットマスク］　Windows　255.255.255.0
イーサネットボード　255.255.255.0
［ゲートウェイ］　Windows　使用しません
イーサネットボード　0.0.0.0

NetBEUIプロトコルを利用する場合

・［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］-［ネットワーク］-［ネットワークの設定タブ］-［現在のネットワークコンポーネント］で［NetBEUI → ***］（*** はアダプタ名）が表示されていることを確認します。

WindowsXP/2000

LPR（TCP/IP）プロトコルを利用する場合

- ［スタート］-［設定］-［ネットワークとダイアルアップ接続］-［ローカルエリア接続］をダブルクリックし、［プロパティ］に［インターネットプロトコル（TCP/IP)］が表示されていることを確認します。
- ［インターネットプロトコル（TCP/IP)］の［プロパティ］をクリックし、[IP アドレス]，[サブネットマスク]，[デフォルトゲートウェイ] が正しいことを確認します。
- セットアップ時にIPアドレスでプリンタを指定した場合は、各オクテットの先頭を「0」にしないでください。例えば、「192.169.1.2」のように設定してください。「192.169.001.002」のように設定すると正しく印刷することができません。これは WindowsXP/2000 の仕様によるものです。

IPP（TCP/IP）プロトコルを利用する場合

- ［スタート］-［設定］-［ネットワークとダイアルアップ接続］-［ローカルエリア接続］をダブルクリックし、［プロパティ］に［インターネットプロトコル（TCP/IP)］が表示されていることを確認します。
- ［インターネットプロトコル（TCP/IP)］の［プロパティ］をクリックし、[IP アドレス]，[サブネットマスク]，[デフォルトゲートウェイ] が正しいことを確認します。
- セットアップするプリンタの IP アドレスや URL が正しいか確認します。
- セットアップ時にIPアドレスでプリンタを指定した場合は、各オクテットの先頭を「0」にしないでください。例えば、「192.169.1.2」のように設定してください。「192.169.001.002」のように設定すると正しく印刷することができません。これは WindowsXP/2000 の仕様によるものです。

NetBEUIプロトコルを利用する場合

- ［スタート］-［設定］-［ネットワークとダイアルアップ接続］-［ローカルエリア接続］をダブルクリックし、［プロパティ］に［NetBEUI プロトコル］が表示されていることを確認します。

WindowsNT4.0

LPR（TCP/IP）プロトコルを利用する場合

・［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］-［ネットワーク］をダブルクリックし、［プロトコルタブ］の［ネットワークプロトコル］で［TCP/IP プロトコル］が表示されていることを確認します。

・［TCP/IP プロトコル］の［プロパティ］で、［IP アドレス］,［サブネットマスク］,［デフォルトゲートウェイ］が正しいことを確認します。

・［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］-［ネットワーク］をダブルクリックし、［サービスタブ］の［ネットワークサービス］で［Microsoft TCP/IP 印刷］が表示されていることを確認します。

・［スタート］-［設定］-［プリンタ］-［使用しているプリンタ］の［プロパティ］を選択し、［ポートタブ］-［印刷するポート］で「xxx.xxx.xxx.xxx:lp」（「xxx.xxx.xxx.xxx:はプリンタのIP アドレス）と表示されていることを確認します。「lp」以外のプリントキュー名は無効です。

NetBEUIプロトコルを利用する場合

・［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］-［ネットワーク］をダブルクリックし、［プロトコルタブ］の［ネットワークプロトコル］で［NetBEUI プロトコル］が表示されていることを確認します。

NetWare

プリントサーバモードを利用する場合

- ファイルサーバ上にプリントサーバが起動しているか確認します。
- 自己診断テストの「FSERVER name#」が、利用している「ファイルサーバ名」と同じか確認します。
- 自己診断テストの「NetWare port name」が、ファイルサーバの「プリンタ名」と同じか確認します。
- 自己診断テストの「Machine name」がファイルサーバの「プリントサーバ名」と同じか確認します。
- イーサネットボードが複数存在する場合はイーサネットボード同士の「NetWare port name」が同じにならないようにします。

リモートプリンタモードを利用する場合

- ファイルサーバ上にプリントサーバが起動しているか確認します。
- 自己診断テストの「PSERVER name#」がファイルサーバ上の「プリントサーバ名」と同じか確認します。
- 自己診断テストの「NetWare port name」がファイルサーバのプリントサーバモニタに表示されている「プリンタ名」と一致しているか確認します。

ユーティリティ

- CV0 AdminManagerでイーサネットボードを検出できるか確認します。
- Webブラウザでイーサネットボードを検出できるか確認します。
- telnetでイーサネットボードを検出できるか確認します。
- pingでイーサネットボードを検出できるか確認します。WindowsのMS-DOSプロンプトで「ping xxx.xxx.xxx.xxx」（xxx.xxx.xxx.xxxはプリンタのIPアドレス）と入力し、Enterキーを押します。

カシオ計算機株式会社
システム営業統轄部　ページプリンタ企画部
〒151-8543　東京都渋谷区本町1－6－2
電話 03-5334-4552

ページプリンタ営業部
電話 03-5334-4550

西日本営業部
電話 06-6243-2100

中部営業部
電話 052-324-2135

カシオ情報機器　北海道支社
電話 011-221-7891

カシオ情報機器　東北支社
電話 022-718-0650

カシオ情報機器　中国支社
電話 082-239-1500

カシオ情報機器　四国支社
電話 087-862-8822

カシオ情報機器　九州支社
電話 092-475-3939

テクニカル・インフォメーション・センター
電話 03-5334-4557

インターネット・ホームページ
http://www.casio.co.jp/ppr/

SPEEDIA V2

LAN I/F**ボード** V2-LA100

イーサネットボード

ユーザーズマニュアル

2002年7月26日　第1版発行

カシオ計算機株式会社
カシオ電子工業株式会社

＊　本装置は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によって異なります。本装置および関連消耗品などをこれらの規制に違反して諸外国に持ち込むと罰則が課されることがあります。

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

＊本書は再生紙を使用しています。